

# 高松市水環境基本計画 第1期実施計画

## 取組状況データ集

# 第1期実施計画の取組目標達成状況

## 基本方針1 身近な水環境の意識の強化

施策番号	施策	取組事項	指標	H25年度	H26年度	H27年度		
						評価	目標値	実績値
1.1.1	啓発活動の強化	水道使用水量の縮減	1人1日当たり水道平均使用水量(リットル)	A	S	S	305	301
1.1.1	啓発活動の強化	節水キャンペーンの実施	24年度同期と比較した水道使用水量減少率(%)	E	C	C	H24年度比 △3.0	-1.8
1.2.1	学校等での環境教育の推進	水環境に関する学習機会の確保	「香川用水の水源巡りの旅事業」参加中学校・参加者数(校/年、人/年)	A	A	B	3,800	3,010
1.2.2	生涯学習の場における環境教育の推進	環境に関する出前講座の開催	出前講座開催回数(回/年)	A	A	S	70	80
			参加者数(人/年)	B	S	S	2100	2,611
1.2.2	生涯学習の場における環境教育の推進	生涯学習センター等における環境学習講座の開催	出前講座開催回数(回/年)	B	S	S	190	248
			参加者数(人/年)	B	S	S	4390	8,742

## 基本方針2 水循環の健全化

施策番号	施策	取組事項	指標	H25年度	H26年度	H27年度		
						評価	目標値	実績値
2.1.1	自己処理水源の確保	自己処理水源の確保	自己処理水比率(%)	S	S	S	44.7	44.9
2.1.1	自己処理水源の確保	地下水源の確保	地下水源開発水量(m <sup>3</sup> /日)	—	E	S	0	3,000
2.1.2	水道施設の整備	配水管の更新推進	配水管布設替延長(m)	S	S	S	6,475	8,472
2.1.2	水道施設の整備	漏水の防止	漏水率(%)	S	A	S	4.8%以下	4.7
2.1.3	水道水質の管理	鉛製給水管の取替推進	鉛管残存率(17年度を100%とした場合の割合)(%)	A	A	A	69.2	72.5
2.2.1	雨水貯留施設の整備	雨水貯留施設の整備促進	雨水貯留施設設置助成により整備された施設の貯留量(m <sup>3</sup> )	E	E	E	53	14
2.2.1	雨水貯留施設の整備	雨水貯留施設の整備促進	不要浄化槽転用助成により整備された施設の貯留量(m <sup>3</sup> )	D	D	E	135	24
2.2.2	下水処理水再生水の利用促進	下水処理水再生水の利用促進	下水処理水再生水利用施設数(施設)	E	E	D	2	1
2.3.1	水源地・水源林の保全	森林整備、造林事業の推進	分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積(延べ数)(ha)	S	C	A	25	23
2.3.1	水源地・水源林の保全	「いざり山」市民活動支援事業の推進	「いざり山」市民活動支援事業による年間整備保全面積(ha)	S	S	A	3.20	2.85
2.3.2	地下水の涵養	雨水浸透施設の整備促進	雨水浸透施設設置助成制度による浸透ます設置数(基)	S	E	S	1	3
2.3.2	地下水の涵養	透水性舗装の整備推進	透水性舗装整備済延長(m)	A	—	S	100	265
2.4.1	汚水処理施設の整備	全市域の下水道化	汚水処理人口普及率(%)	B	E	E	1.6	0.4
2.4.2	合流式下水道の改善	合流式下水道の改善	合流式下水道改善率(%)	A	S	—	事業終了	事業終了

### 基本方針3 良好な水辺環境の創出

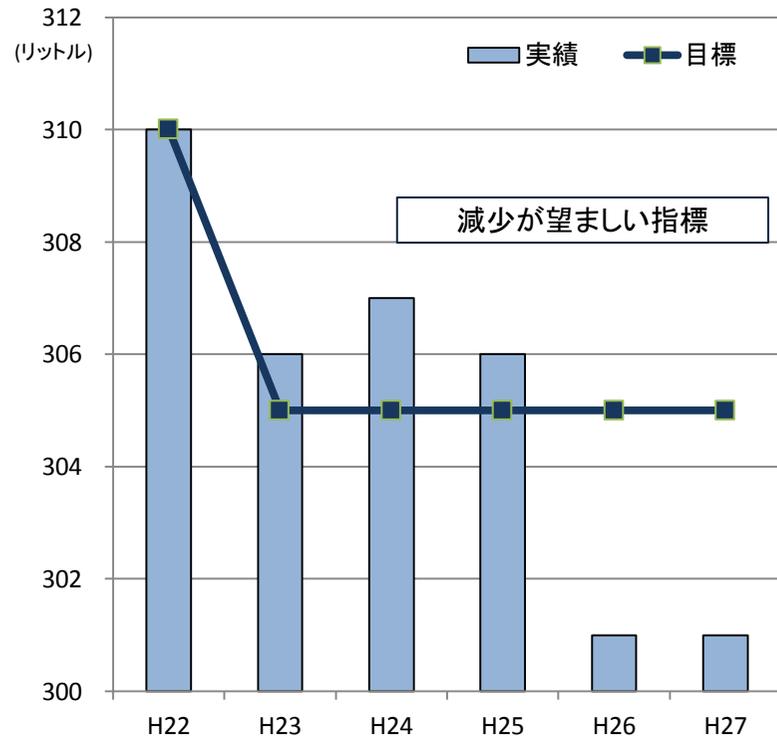
施策番号	施策	取組事項	指標	H25年度	H26年度	H27年度		
						評価	目標値	実績値
3.1.1	生活排水対策の推進	公共下水道への接続促進	公共下水道接続率(%)	S	S	S	90.4	90.9
3.1.3	河川・ため池の浄化対策の推進	河川の環境基準の達成	河川環境基準(BOD)の達成率 <sup>1</sup> (%)	A	A	A	67	67
3.1.3	河川・ため池の浄化対策の推進	ため池の浚渫	浚渫したため池の箇所数(22年度を基準とする延べ数)(か所)	C	E	B	10	8
3.2.1	潤いのある緑地と水辺空間の創造	都市公園等の整備	1人当たり都市公園等面積(m <sup>2</sup> /人)	A	A	B	9.81	8.15
3.2.2	生態系に配慮した水空間づくり	生態系保全水路工法の採用	生態系保全水路工法採用水路の数(22年度を基準とする延べ数)(か所)	E	E	E	1	0
3.2.3	住民の憩いの場としてのため池整備	ため池の水辺環境整備	「ため池守り隊市民活動」支援事業取組か所数(か所)	B	S	S	0	1

### 基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進

施策番号	施策	取組事項	指標	H25年度	H26年度	H27年度		
						評価	目標値	実績値
4.1.1	適切な渇水対応の実施	渇水対応の実施	渇水時の節水目標達成率(%)	S	-	-	-	-
4.2.1	施設の耐震化	水道施設の耐震化	基幹管路耐震化率(%)	S	S	S	36.5	37.8
4.2.1	施設の耐震化	下水道施設の耐震化	下水処理場・ポンプ場耐震化率(%)	A	A	B	100	79.2
4.2.1	施設の耐震化	下水道施設の耐震化	下水管きょ耐震化率(%)	D	S	S	0.3	0.4
4.2.3	地域住民との連携の強化	自主防災組織の結成促進	自主防災組織活動カバー率(%)	A	A	A	100	100
4.3.1	雨水対策の推進	雨水対策の推進	雨水対策整備済み面積(ha)	-	E	E	46.5	0
4.3.2	高潮等対策の推進	高潮等対策の推進	防潮堤整備による浸水(床上下)棟の解消率(%)	S	S	E	10.4	3.6
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	耕作放棄地の活用	耕作放棄地再生利用面積(ha)	S	E	E	3.5	0.2
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	ため池の整備	県営・団体営ため池整備か所数(か所)	D	S	E	県営1 団体営4	県営2 団体営0
4.3.3	ため池・水田等の保全・活用	ため池の整備	ため池再編整備地区数(地区)	E	E	E	0	0

## 1. 1. 1啓発活動の強化【水道使用水量の縮減】

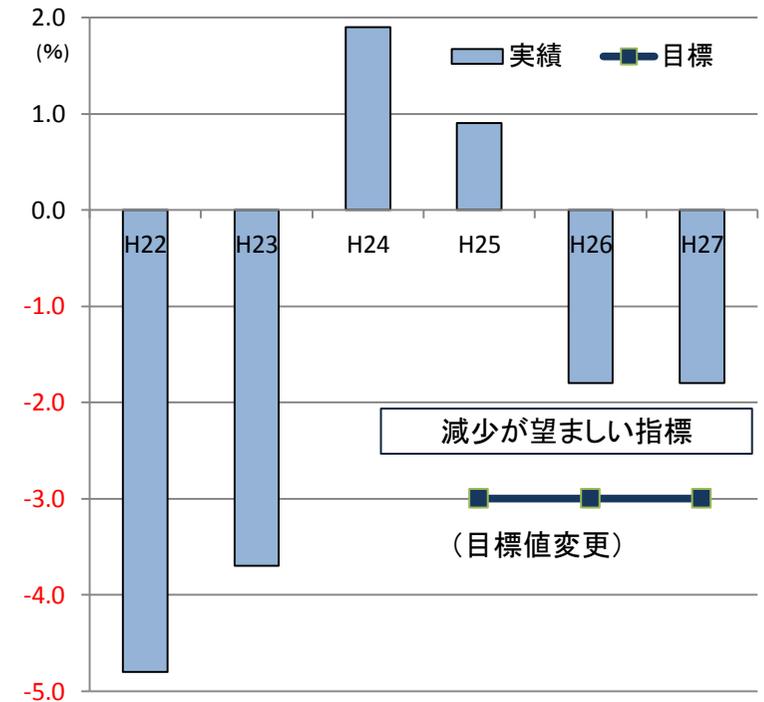
指標	1人1日当たり水道平均使用水量
取組状況	大口需要者の使用水量が減少や節水意識の高まり、節水型設備の普及などにより、目標値を達成できました。今後も引き続き、広報紙や市ホームページ、ケーブルテレビなどの広報媒体や水に関するイベントを更に活用し、水環境や水資源の大切さに対する意識啓発を図っていきます。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
累積	目標	305	305	305	305	305
	実績	310	306	307	306	301
	評価				A	S

## 1. 1. 1啓発活動の強化【節水キャンペーンの実施】

指標	H24年度同期と比較した水道使用水量減少率
取組状況	節水に関する川柳を募集する「巧水キャンペーン2015」を実施しました。応募件数は昨年度を下回りましたが、市民の節水に対する意識は高まっていると考えられます。キャンペーン中の水道使用量は減少しており、一定の効果があったと言えます。

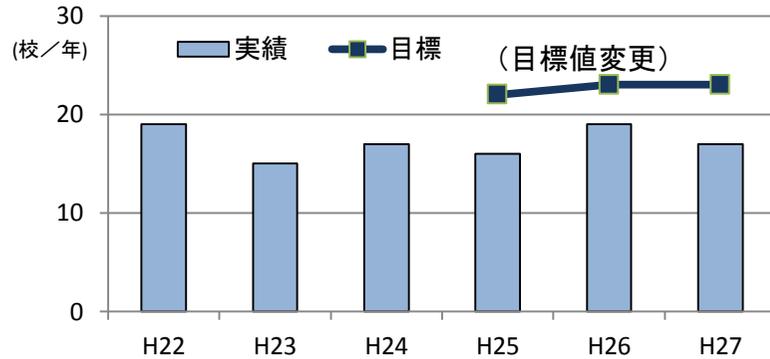


区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標			-3.0	-3.0	-3.0
	実績	-4.8	-3.7	1.9	0.9	-1.8
	評価				E	C

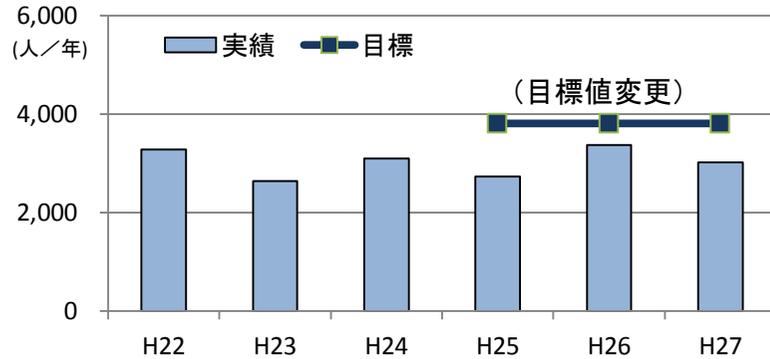
## 1. 2. 1 学校等での環境教育の推進【水環境に関する学習機会の確保】

指標	「香川用水の水源巡りの旅事業」参加中学校・参加者数
取組状況	学校行事等の都合で参加できない学校があり、目標値を達成できなかったが、生徒の環境意識を高める上で大きく役に立っているので、引き続き、広く中学校への周知を図っていきます。

参加中学校



参加者数

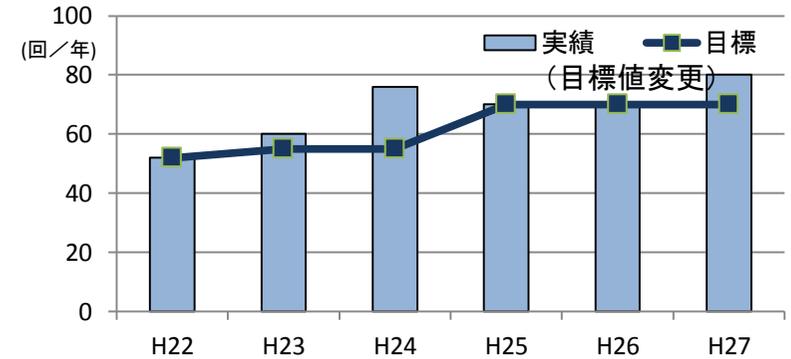


区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	参加中学校	目標			22	23	23	
		実績	19	15	17	16	19	17
	参加者数	目標				3,800	3,800	3,800
		実績	3,278	2,637	3,089	2,732	3,369	3,010
評価					参加者A	参加者A	参加者B	

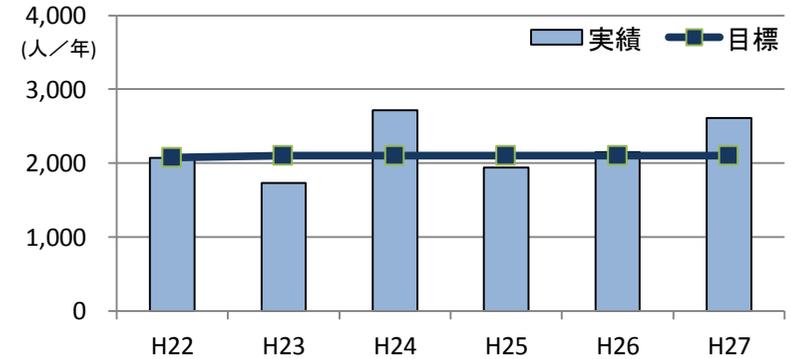
## 1. 2. 2 生涯学習の場における環境教育の推進【環境に関する出前講座の開催】

指標	出前講座開催回数・参加者数
取組状況	環境学習講座を開催するとともに、広報紙やホームページにより周知に努めました。また、環境活動団体との意見交換会などを通して情報収集に努め、講座内容の改善にも取り組み、環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境学習支援事業(出前事業)のほか、瀬戸内海の環境保全について学ぶ講座を開催するなどにより、参加人員が大幅に増加しました。

開催回数



参加者数

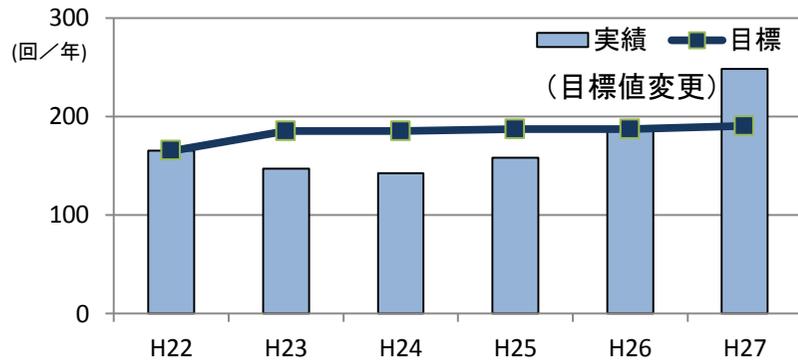


区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	開催回数	目標			70	70	70	
		実績	52	60	76	70	70	80
	参加者数	目標				2,100	2,100	2,100
		実績	2,074	1,730	2,714	1,937	2,146	2,611
評価					回数A、参加者数B	回数A、参加者数S	回数S、参加者数S	

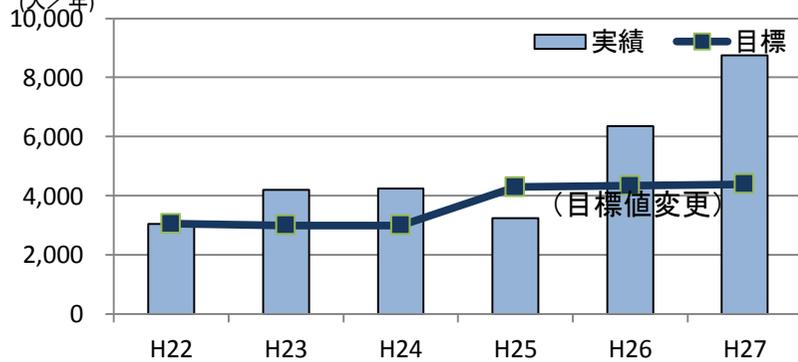
1. 2. 2生涯学習の場における環境教育の推進【生涯学習センター等における環境学習講座の開催】

指標	講座開催回数・受講者数
取組状況	生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、環境問題学習を内容とした講座(うち、水問題学習については、9回、253人)を開催しました。引き続き、生涯学習センターやコミュニティセンターを会場として受講者数の増加に努め、市民の環境に関する意識の啓発を図っていきます。

開催回数



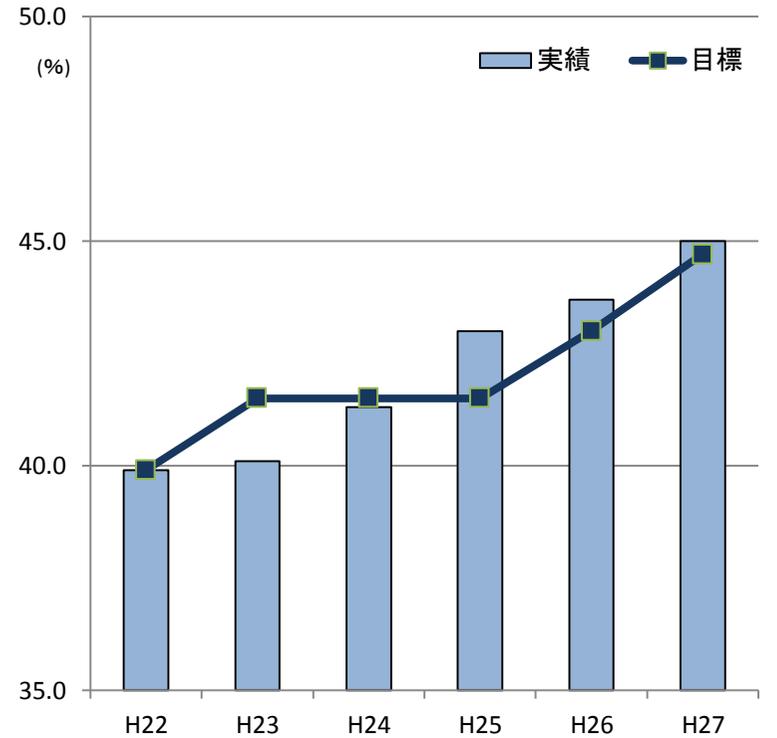
受講者数



区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	開催回数	目標	185	185	187	187	190
		実績	165	147	142	158	188
	受講者数	目標	3,000	3,000	4,290	4,340	4,390
		実績	3,055	4,194	4,241	3,242	6,361
評価				回数B、 参加者数B	回数S、 参加者数S	回数S、 参加者数S	

2. 1. 1自己処理水源の確保【自己処理水源の確保】

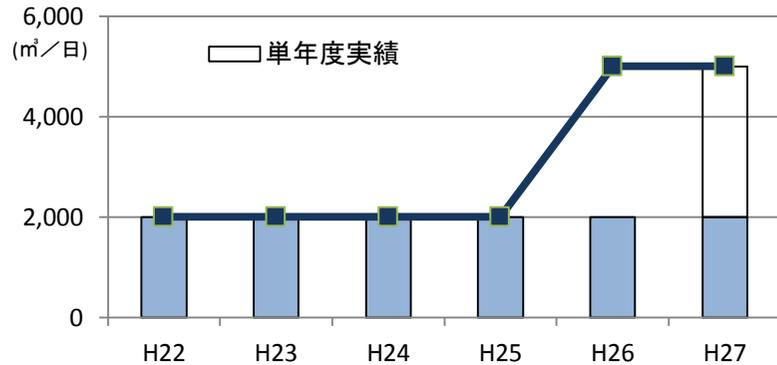
指標	自己処理水比率
取組状況	27年7月末からは東ハゼ町深井戸についても導水可能となりました。栂川ダム建設事業については、継続して参画しています。



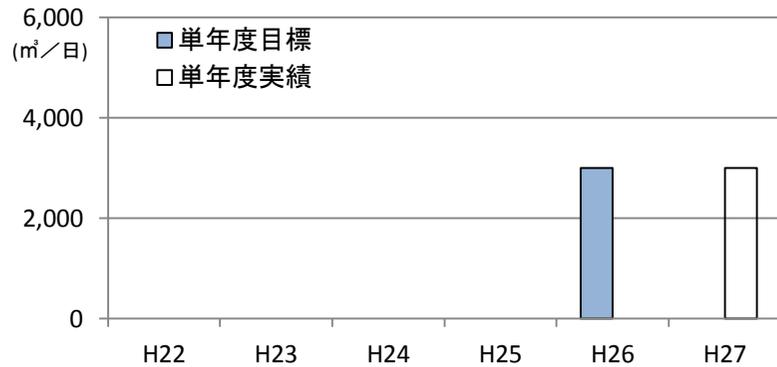
区分		H22	H23	H24	H25	H26	H27
累積	目標	41.5	41.5	41.5	43.0	43.0	44.7
	実績	39.9	40.1	41.3	43.0	43.7	44.9
	評価				S	S	S

## 2. 1. 1 自己処理水源の確保【地下水源の確保】

指標	地下水源開発水量
取組状況	香川中央地域地下水利用対策協議会に諮り、渇水時の取水基準の緩和について了承されました。前処理施設である除鉄、除マンガン施設等についても、27年7月末に完成し、深井戸から約3,000m <sup>3</sup> /日の取水が可能となり、地下水で合計5,000m <sup>3</sup> /日が取水できるようになりました。



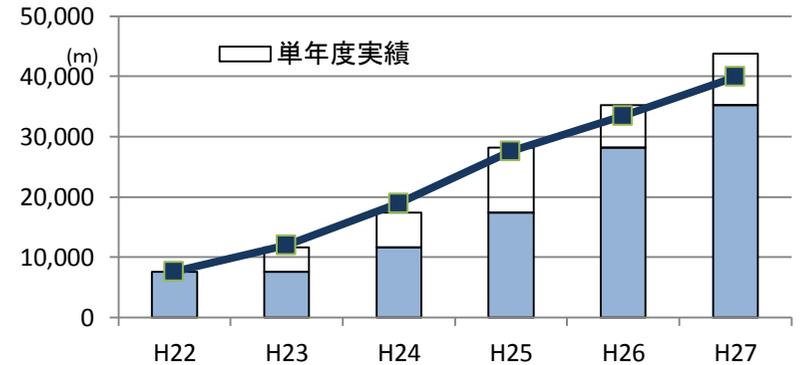
単年度ごとの比較



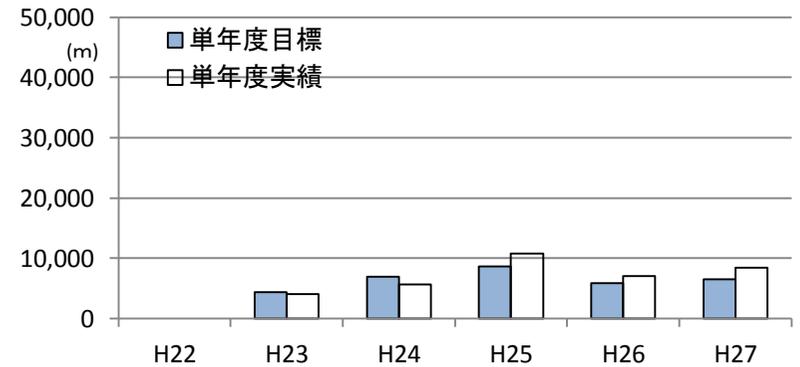
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標	0	0	0	3,000	0	
	実績	0	0	0	0	3,000	
	評価				-	E	S
累積	目標		2,000	2,000	2,000	5,000	5,000
	実績	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	5,000

## 2. 1. 2 水道施設の整備【配水管の更新推進】

指標	配水管布設替延長
取組状況	27年度に予定していた配水管の更新4,476mに取り組んだほか、26年度から繰り越した配水管の更新3,996mについても取り組み、目標値を達成することができました。また、過去5年間(H23-27)の更新累積についても目標値を達成できており、引き続き、老朽配水管の更新を推進していきます。



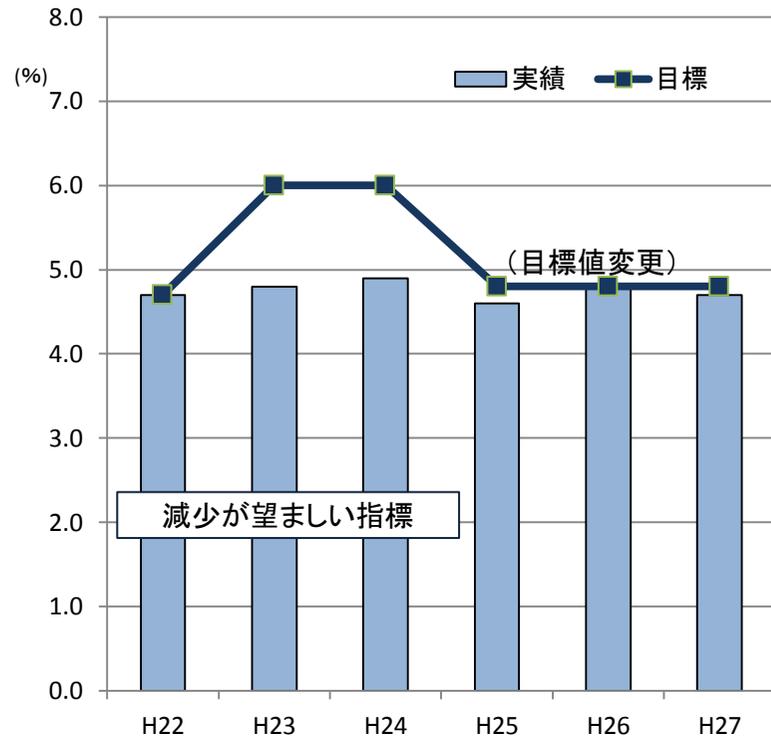
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標	4,365	6,960	8,630	5,860	6,475	
	実績		4,079	5,713	10,827	7,035	8,472
	評価				S	S	S
累積	目標		11,975	18,935	27,565	33,425	39,900
	実績	7,610	11,689	17,402	28,229	35,264	43,736

## 2. 1. 2水道施設の整備【漏水の防止】

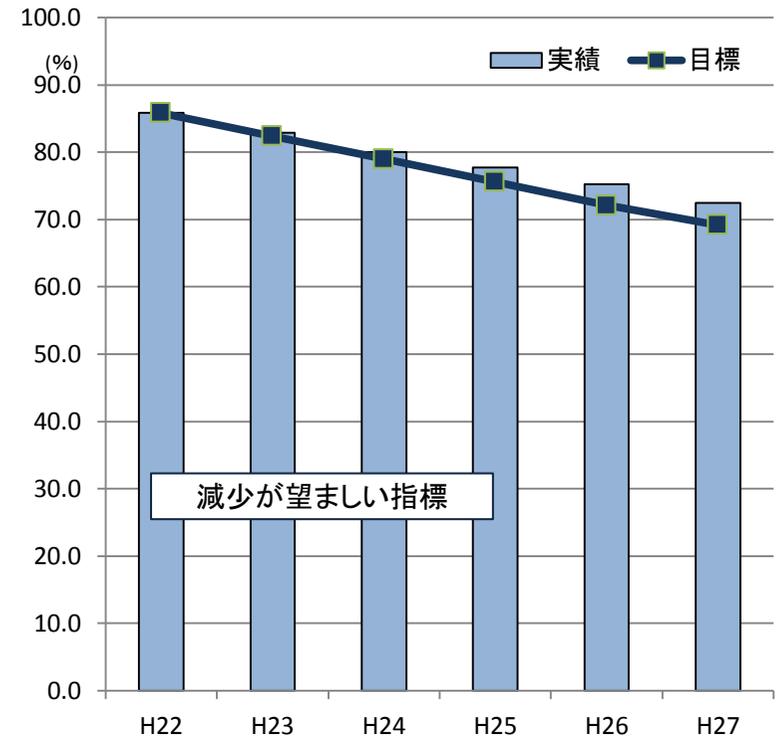
指標	漏水率
取組状況	漏水調査を計画どおり実施した結果、年間目標である漏水率4.8%以下を達成することができました。引き続き、漏水を早期に発見し対処するため、効果的な漏水調査を実施するとともに、修繕体制の強化を行い漏水率の低減に取り組めます。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	6.0	6.0	4.8	4.8	4.8
	実績	4.7	4.8	4.9	4.6	4.8
	評価				S	A

## 2. 1. 3水道水質の管理【鉛製給水管の取替推進】

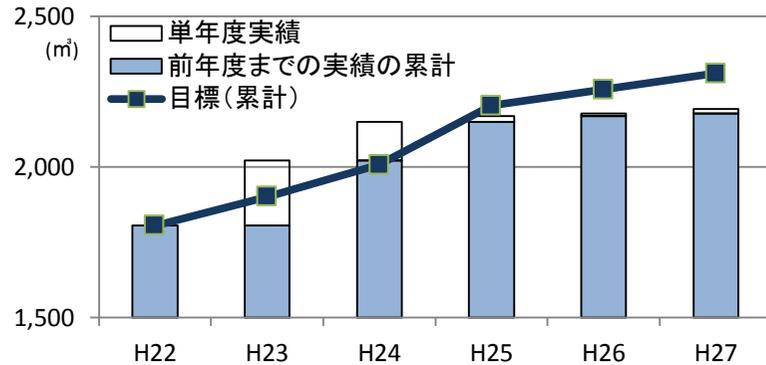
指標	鉛管残存率(17年度を100%とした場合の割合)
取組状況	27年度から助成金交付制度を拡充し、鉛管使用世帯への戸別通知を実施しました。助成制度利用件数は増加しましたが、他工事による取替件数の減少により、目標値を達成できませんでした。引き続き、戸別通知や各種広報を活用した周知を図っていきます。



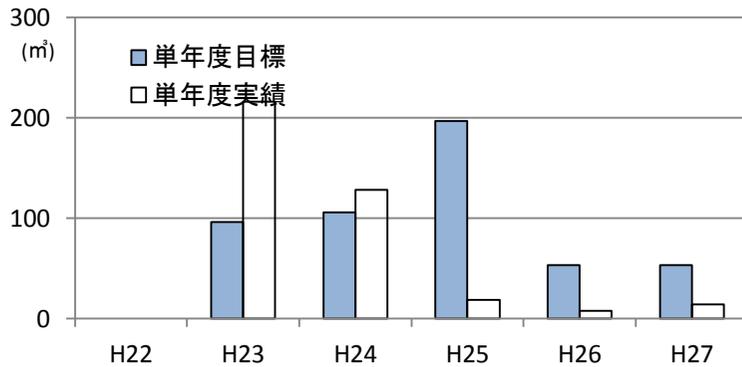
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
累積	目標	82.4	79.0	75.6	72.1	69.2
	実績	85.8	82.9	80.0	77.7	75.2
	評価				A	A

## 2. 2. 1 雨水貯留施設の整備【雨水貯留施設の整備促進】

指標	雨水貯留施設設置助成により整備された施設の貯留量
取組状況	27年度は、予定の40%程度の助成件数であったが、中・大規模の申請が少なかったため、単年度の貯留量は目標の27%程度に止まりました。引き続き、中・大規模の雨水貯留施設に関する助成制度に力を入れた周知・啓発を図っていきます。



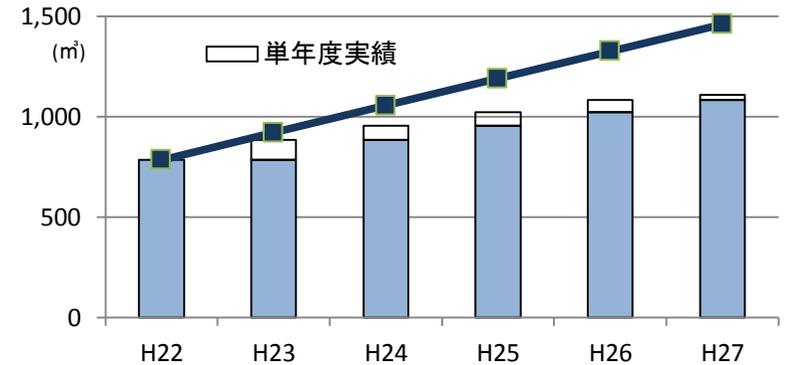
単年度ごとの比較



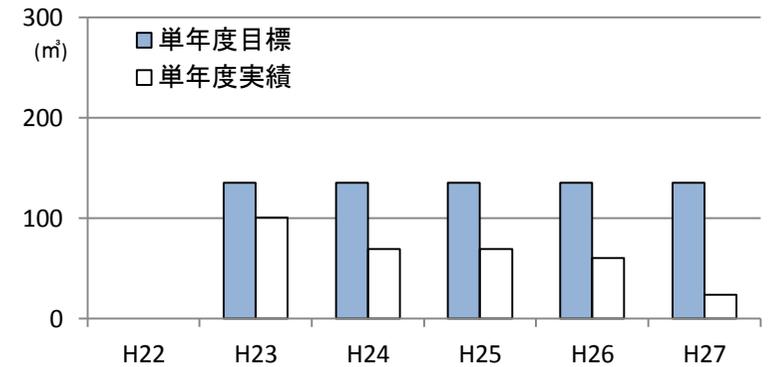
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		96	106	196	53	53
	実績		216	128	19	8	14
	評価				E	E	E
累積	目標		1,901	2,007	2,203	2,256	2,309
	実績	1,805	2,021	2,150	2,169	2,177	2,191

## 2. 2. 1 雨水貯留施設の整備【雨水貯留施設の整備促進】

指標	不要浄化槽転用助成により整備された施設の貯留量
取組状況	27年度は、予定の21%程度の助成件数で、単年度の貯留量も目標の18%程度に止まりました。引き続き、27年度に見直した雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を図っていきます。



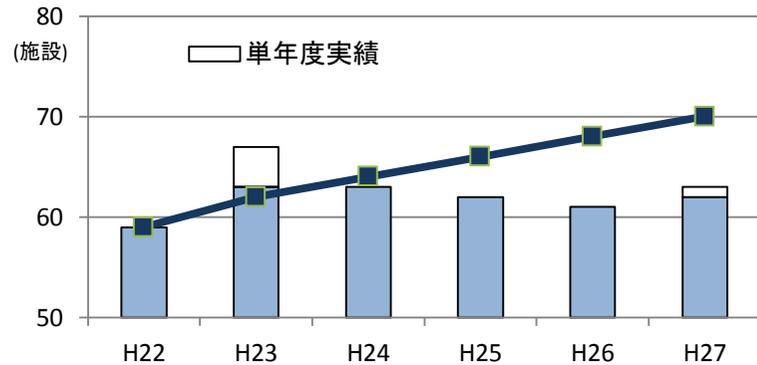
単年度ごとの比較



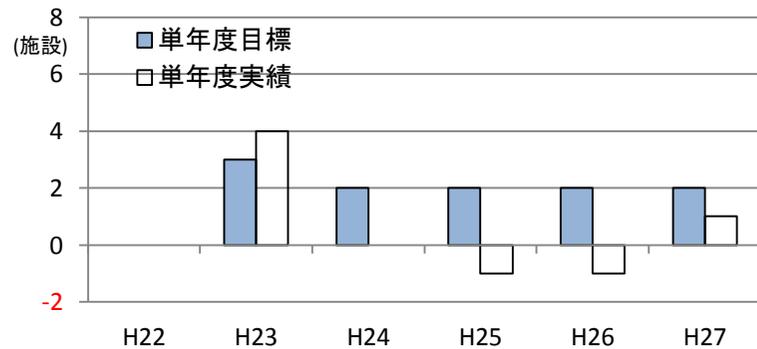
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		135	135	135	135	135
	実績		101	69	69	60	24
	評価				D	D	E
累積	目標		920	1,055	1,190	1,325	1,460
	実績	785	885	954	1,023	1,083	1,107

## 2. 2 下水処理水再生水の利用促進【下水処理水再生水の利用促進】

指標	下水処理水再生水利用施設数
取組状況	27年度においては、1施設で供給を開始したことにより、現在62施設へ供給を行っています。引き続き、下水処理水再生水の有効利用を図るため、現供給区域内において、新たな利用施設の増加を図っていきます。



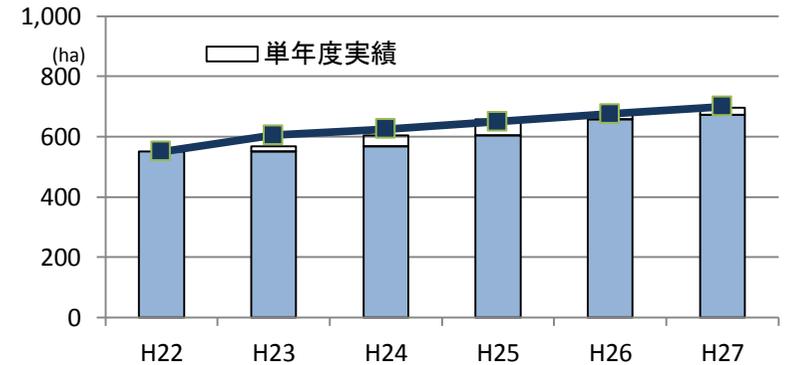
単年度ごとの比較



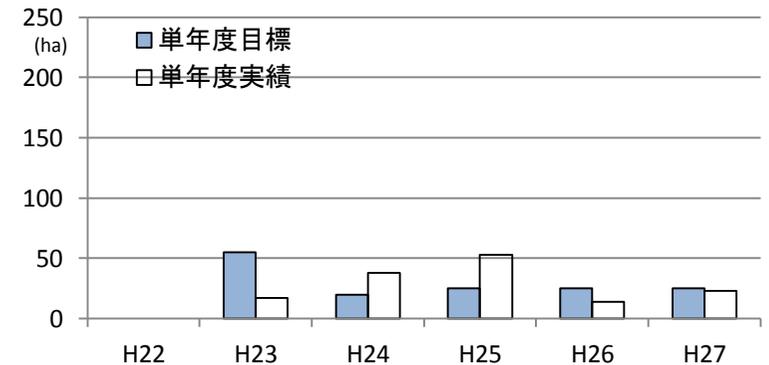
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	3	2	2	2	2
	実績	4	0	-1	-1	1
	評価			E	E	D
累積	目標	62	64	66	68	70
	実績	59	63	63	62	62

## 2. 3. 1 水源地・水源林の保全【森林整備、造林事業の推進】

指標	分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積(延べ数)
取組状況	27年度においては、単年度及び累積共に、ほぼ目標値を達成し、分収造林地の整備を通じて、水源地・水源林の保全が図られました。



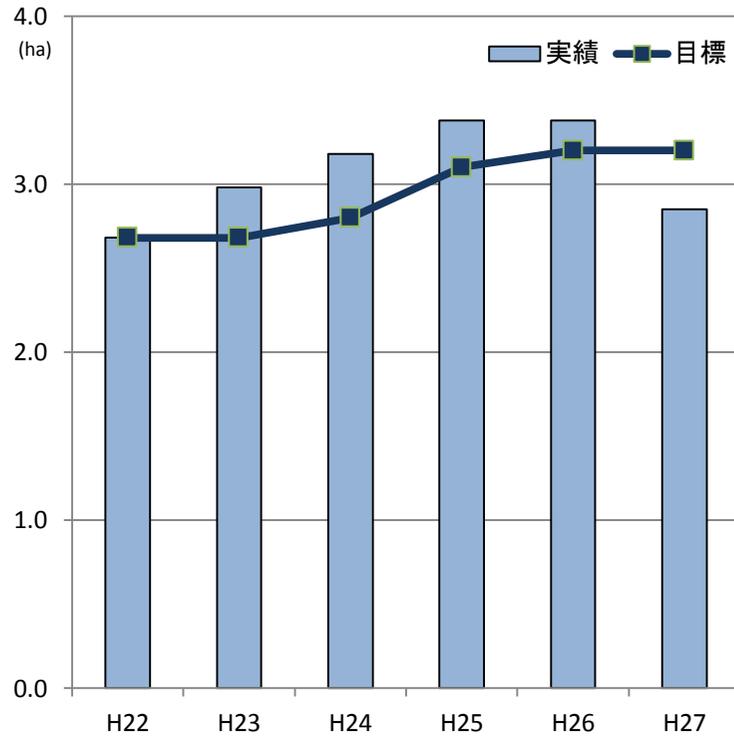
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	55	20	25	25	25
	実績	17	38	53	14	23
	評価			S	C	A
累積	目標	605	625	650	675	700
	実績	550	567	605	658	672

### 2. 3. 1 水源地・水源林の保全【「いざ里山」市民活動支援事業の推進】

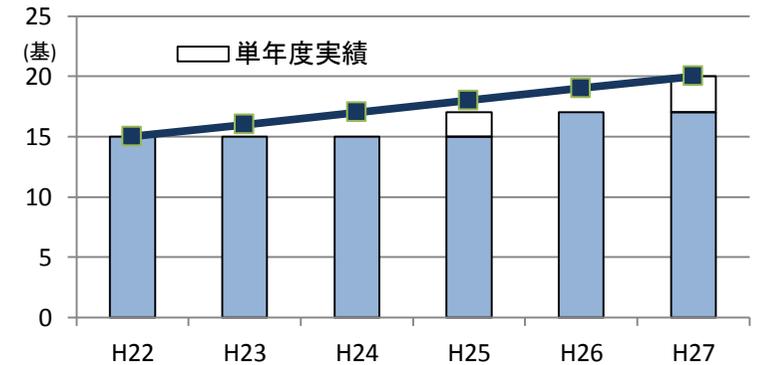
指標	「いざ里山」市民活動支援事業による年間整備保全面積
取組状況	27年度より新たな4団体(1団体のみ25年度から継続)で活動しており、ほぼ目標どおりの整備面積を確保できました。計画期間を通じて目標を上回る面積の里山が整備され、水源地・水源林の保全が図られました。



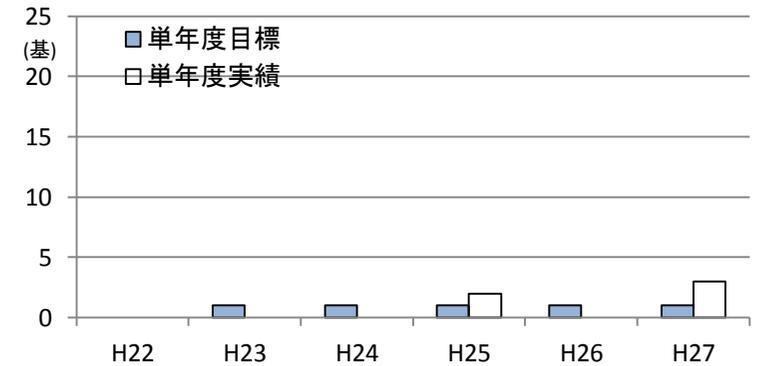
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年						
目標		2.68	2.80	3.10	3.20	3.20
実績	2.68	2.98	3.18	3.38	3.38	2.85
評価				S	S	A

### 2. 3. 2 地下水の涵養【雨水浸透施設の整備促進】

指標	雨水浸透施設設置助成制度による浸透ます設置数
取組状況	27年度は、目標を達成しましたが、引き続き、雨水貯留浸透施設に関する助成制度の周知・啓発を図っていきます。



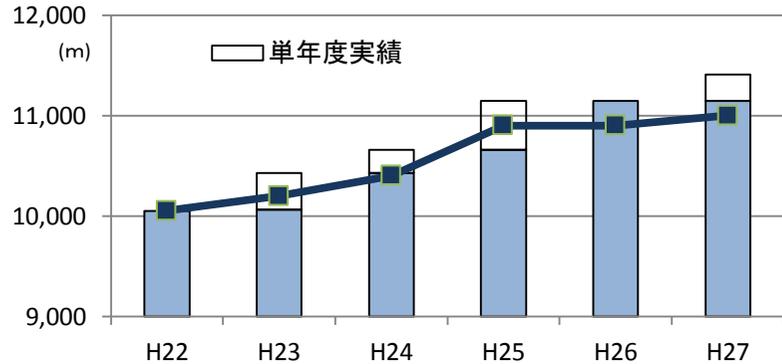
単年度ごとの比較



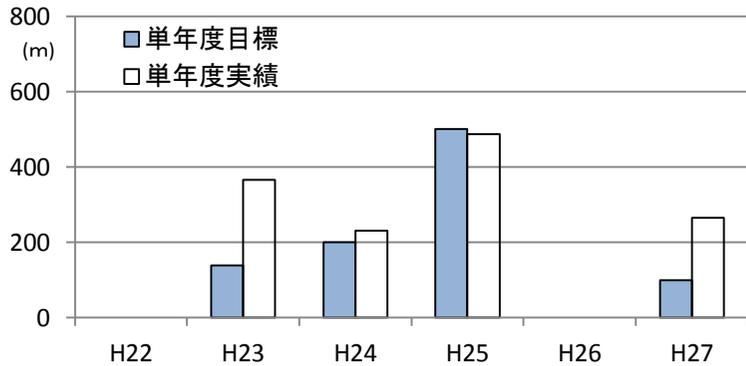
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年						
目標		1	1	1	1	1
実績		0	0	2	0	3
評価				S	E	S
累積						
目標		16	17	18	19	20
実績	15	15	15	17	17	20

2. 3. 2地下水の涵養【透水性舗装の整備推進】

指標	透水性舗装整備済延長
取組状況	27年度は、目標を大幅に上回って実施することが出来ました。引き続き、用途地域内において、都市計画道路など新設道路整備等に併せて、歩道の透水性舗装の整備を進めていきます。



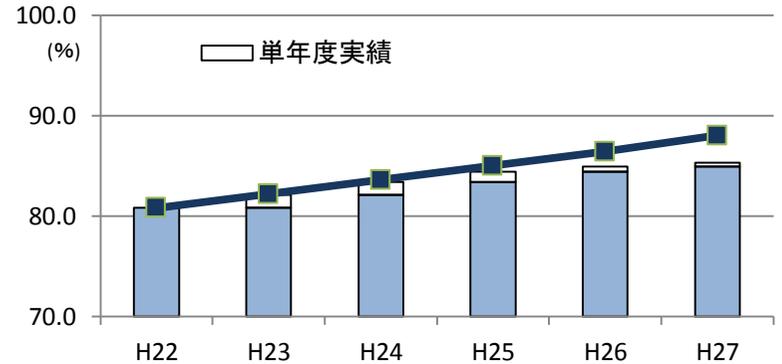
単年度ごとの比較



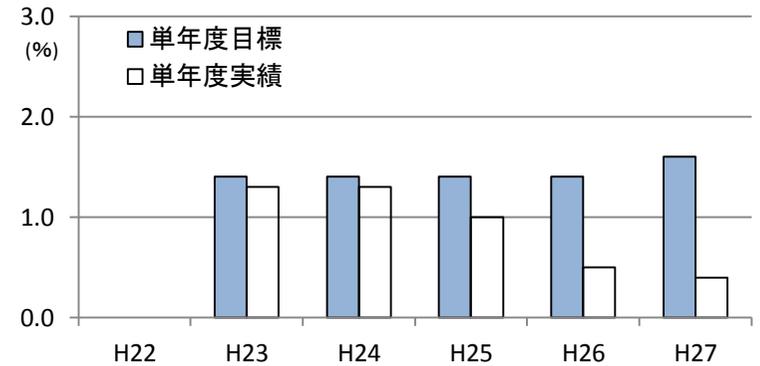
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		138	200	500	0	100
	実績		366	230	487	0	265
	評価				A	-	S
累積	目標		10,200	10,400	10,900	10,900	11,000
	実績	10,052	10,428	10,658	11,145	11,145	11,410

2. 4. 1汚水処理施設の整備【全市域の下水道化】

指標	汚水処理人口普及率
取組状況	27年度において、汚水管をL=7,945m整備するとともに、合併処理浄化槽を888基整備促進したこと等により、汚水処理人口普及率は0.4%向上しました。引き続き、下水道事業計画区域内の未整備地区における計画的な下水道管の整備に努めるとともに、合併処理浄化槽の設置補助を行うことにより、汚水処理人口普及率の向上を図っていきます。



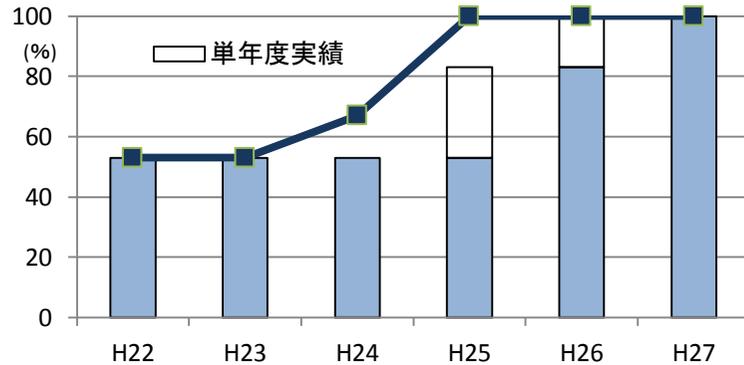
単年度ごとの比較



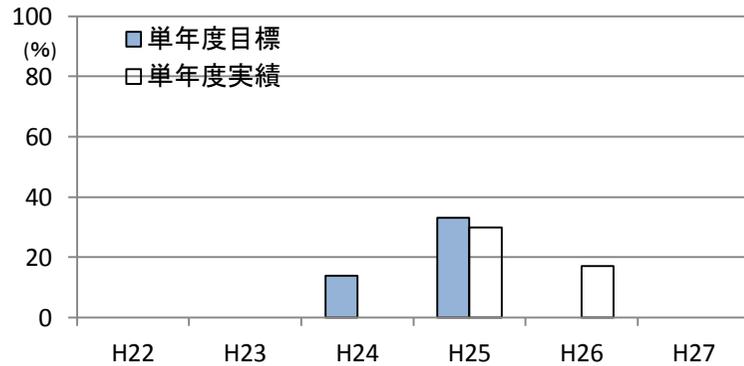
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		1.4	1.4	1.4	1.4	1.6
	実績		1.3	1.3	1.0	0.5	0.4
	評価				B	E	E
累積	目標		82.2	83.6	85.0	86.4	88.0
	実績	80.8	82.1	83.4	84.4	84.9	85.3

## 2. 4. 2合流式下水道の改善【合流式下水道の改善】

指標	合流式下水道改善率
取組状況	26年度において、西部処理区・東部処理区とも合流改善事業が完了しました。



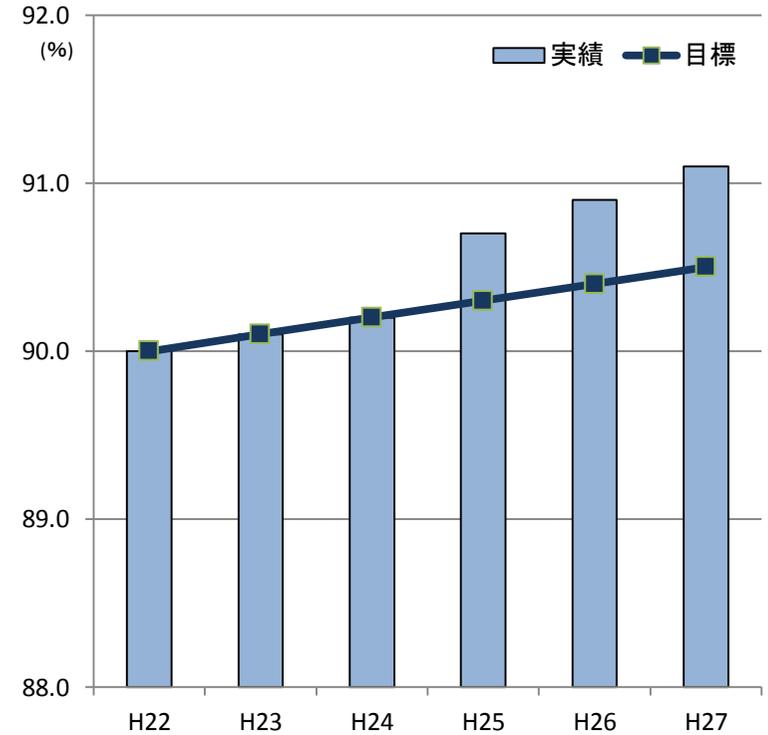
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	0	14	33	0	-
	実績	0	0	30	17	-
	評価			A	S	-
累積	目標		53	67	100	100
	実績	53	53	53	83	100

## 3. 1. 1生活排水対策の推進【公共下水道への接続促進】

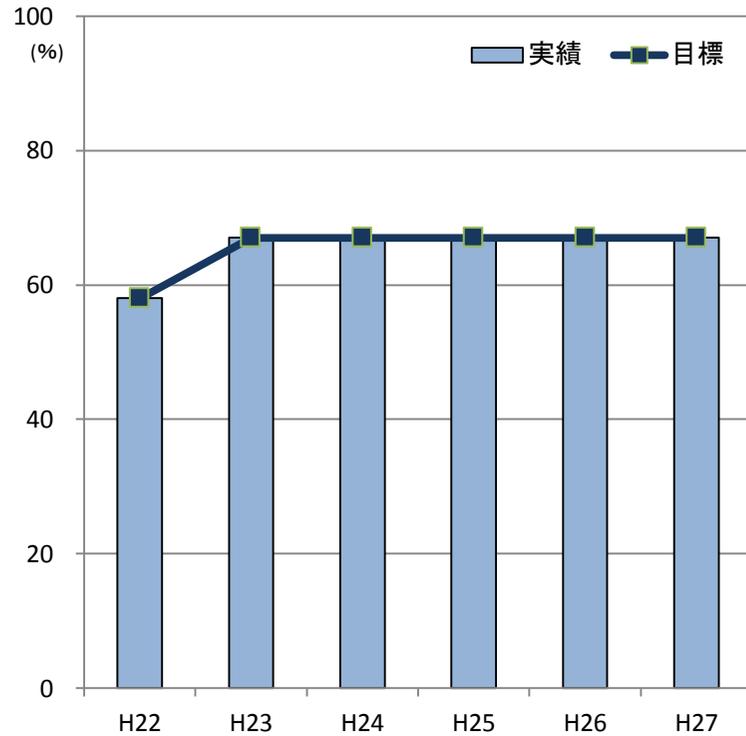
指標	公共下水道接続率
取組状況	27年度においては、未接続世帯約5,700件の接続推進訪問実施により、目標値を達成しました。 この5年間の取組については、訪問状況や未接続理由などの接続推進に必要な情報を一括管理できるよう、未接続世帯台帳の管理システムを構築するとともに、26年度には接続推進体制を強化するため、普及促進係を新設しました。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	90.1	90.2	90.3	90.4	90.5
	実績	90.0	90.1	90.2	90.7	90.9
	評価				S	S

### 3. 1. 3河川・ため池の浄化対策の推進【河川環境基準の達成】

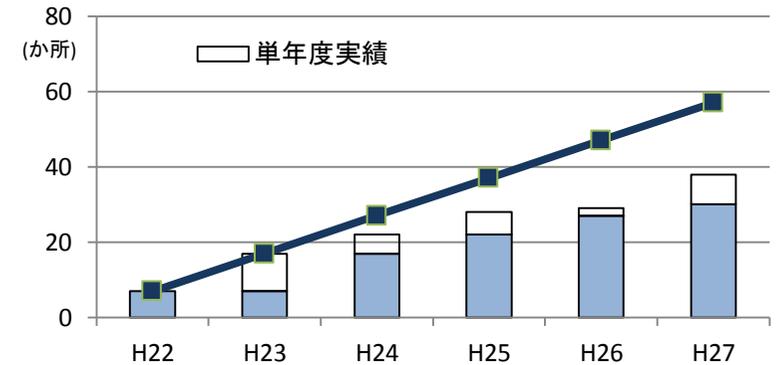
指標	河川環境基準(BOD)の達成率
取組状況	27年度においては、市内10河川12水域中8水域で環境基準を達成し、環境基準の達成率は目標値どおりの67%となりました。毎年度、水質測定計画に沿って、公共用水域の水質監視を継続し、河川の環境基準の達成率の確認を行いました。



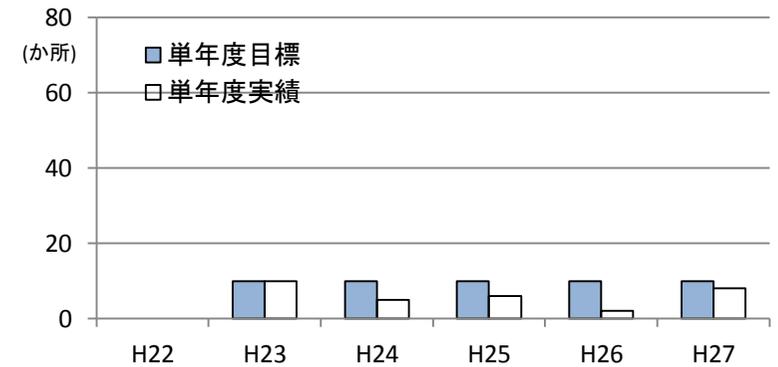
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	67	67	67	67	67
	実績	58	67	67	67	67
	評価				A	A

### 3. 1. 3河川・ため池の浄化対策の推進【ため池の浚渫】

指標	浚渫したため池の箇所数(22年度を基準とする延べ数)
取組状況	27年度においては、8か所の浚渫に取り組んだほか、26か所の池干しに取り組みました。引き続き、ため池の浚渫については、年間10か所実施を目標として取り組んでいきます。今後とも、計画的な浚渫等の事業が促進されるよう、指導、助言に努めていきたい。



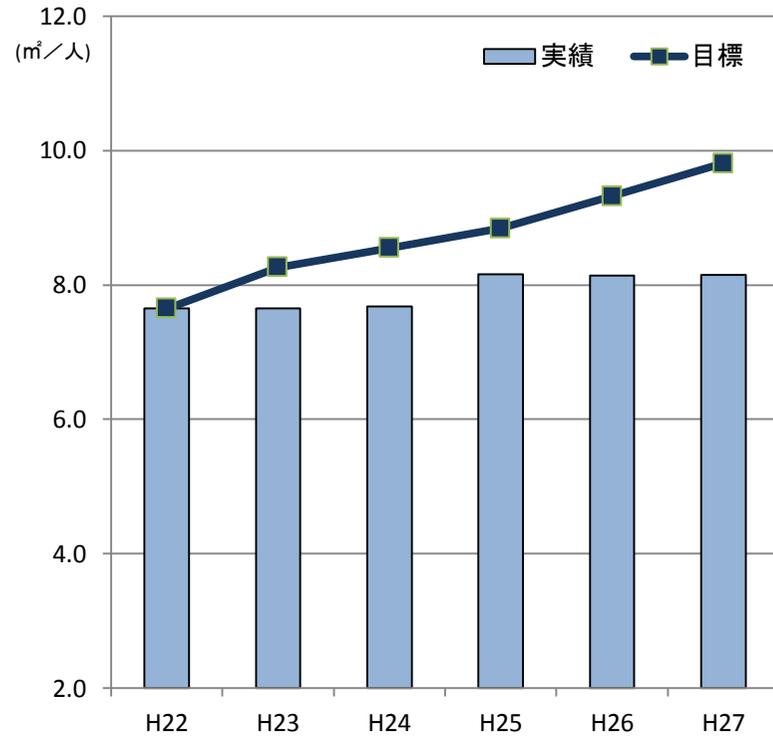
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	10	10	10	10	10
	実績	7	10	22	28	29
	評価				C	E
累積	目標	17	27	37	47	57
	実績	7	17	22	28	29

### 3. 2. 1潤いのある緑地と水辺空間の創造【都市公園等の整備】

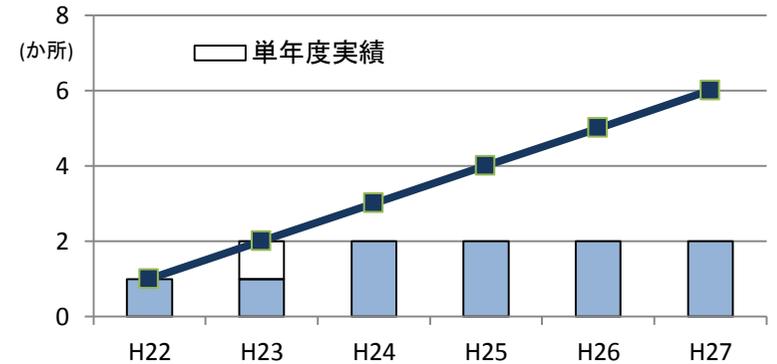
指標	1人当たり都市公園等面積
取組状況	27年度においては、みたに三郎池公園及び勅使町御殿ふれあい公園等の整備が完了し、1人当たり都市公園等面積は8.15㎡となりました。5年間の取組として、東部運動公園が平成26年5月1日から全面供用開始し、街区公園等の整備や高松海岸線等の街路緑化及び公園芝生化の実施により、親しみやすい憩いの場としての水辺空間の創造を推進しました。



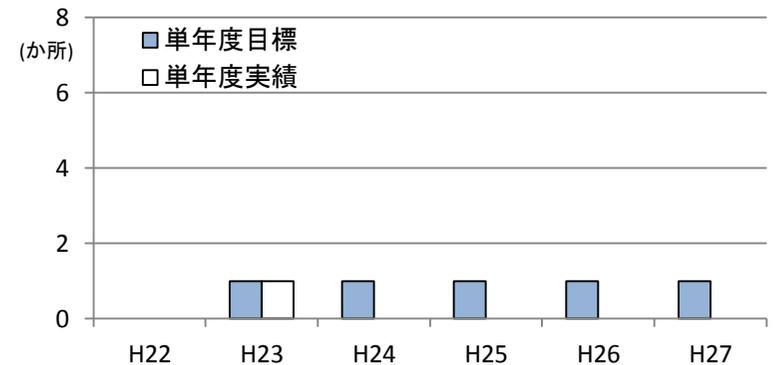
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
累積	目標					
	実績	7.65	7.65	7.68	8.16	8.14
	評価				A	A

### 3. 2. 2生態系に配慮した水空間づくり【生態系保全水路工法の採用】

指標	生態系保全水路工法採用水路の数(22年度を基準とする延べ数)
取組状況	27年度においては、生態系保全水路工法の採用を推進したものの、取組か所はありませんでした。土地改良事業の実施においては、維持管理面、コストとの両立を図り、生態系の保全に考量した工法が採用されるよう、事業主体である地元土地改良区への働きかけに努めていきます。



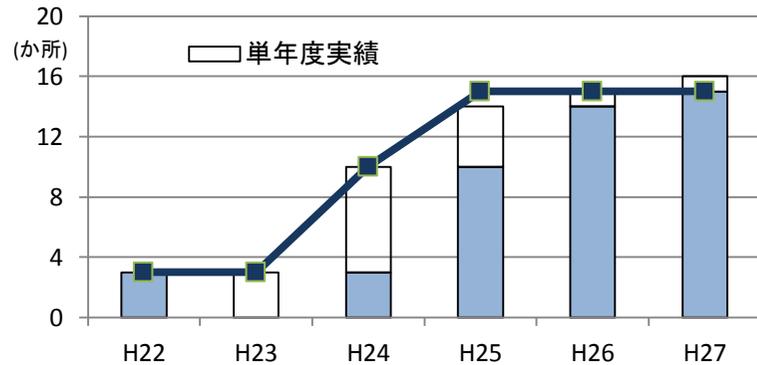
単年度ごとの比較



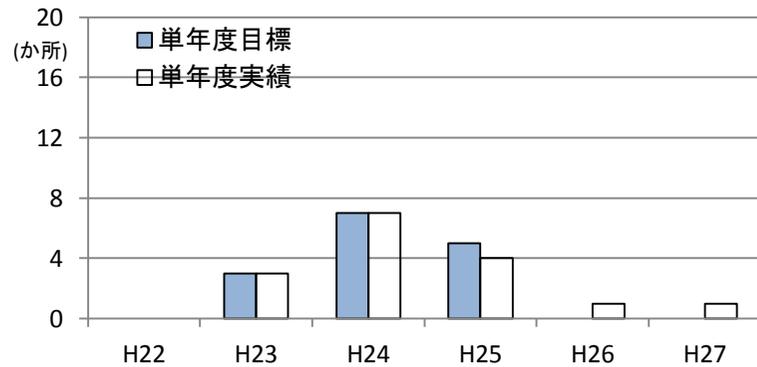
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標					
	実績		1	0	0	0
	評価				E	E
累積	目標					
	実績	1	2	2	2	2

### 3. 2. 3住民の憩いの場としてのため池整備【ため池の水辺環境整備】

指標	「ため池守り隊市民活動」支援事業取組か所数
取組状況	27年度においては、ため池景観整備維持管理18か所、「ため池守り隊」市民活動支援は16か所で取り組みました。引き続き、ため池の水辺環境の整備を図っていきます。 今後とも、地元土地改良区において、継続した取組が行えるよう、補助金交付などの支援を行っていきます。



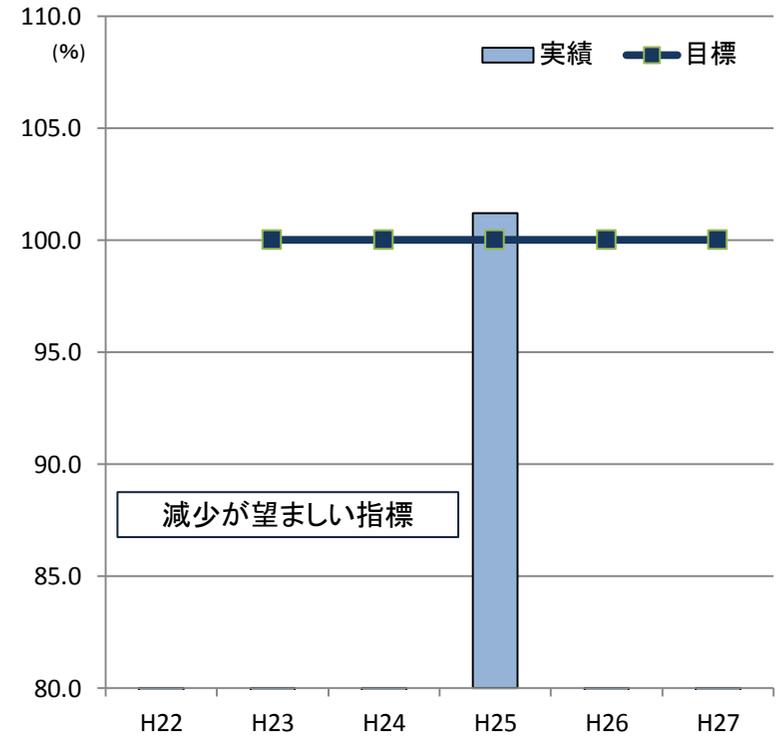
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		3	7	5	0	0
	実績		3	7	4	1	1
	評価				B	S	S
累積	目標		3	10	15	15	15
	実績	3	3	10	14	15	16

### 4. 1. 1適切な渇水対応の実施【渇水対応の実施】

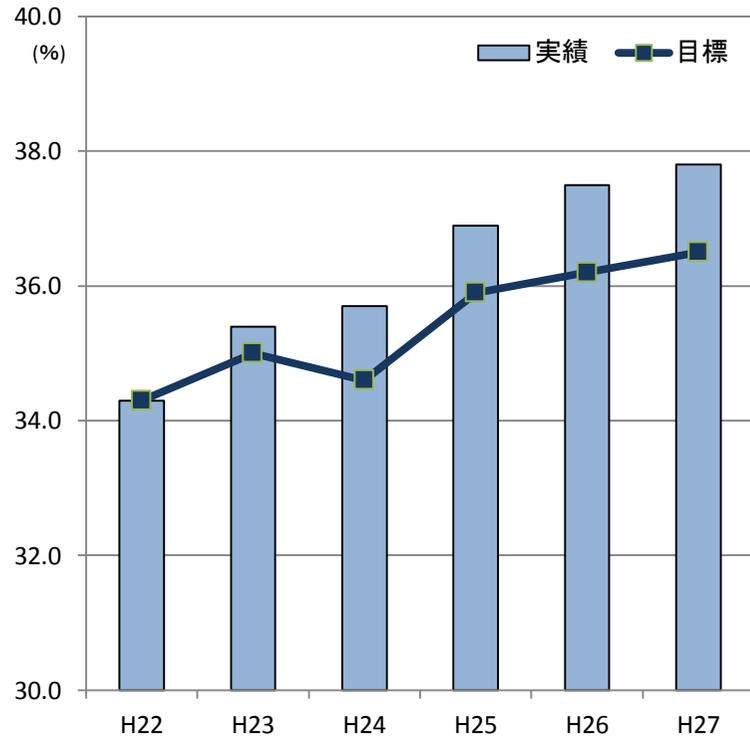
指標	渇水時の節水目標達成率
取組状況	27年度に香川用水の取水制限はありませんでした。今後も、香川用水の取水制限の段階に応じて、適時適切な渇水対応を行い、時間給水、断水の回避に努めます。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績				101.2		
	評価				S	-	-

#### 4. 2. 1施設の耐震化【水道施設の耐震化】

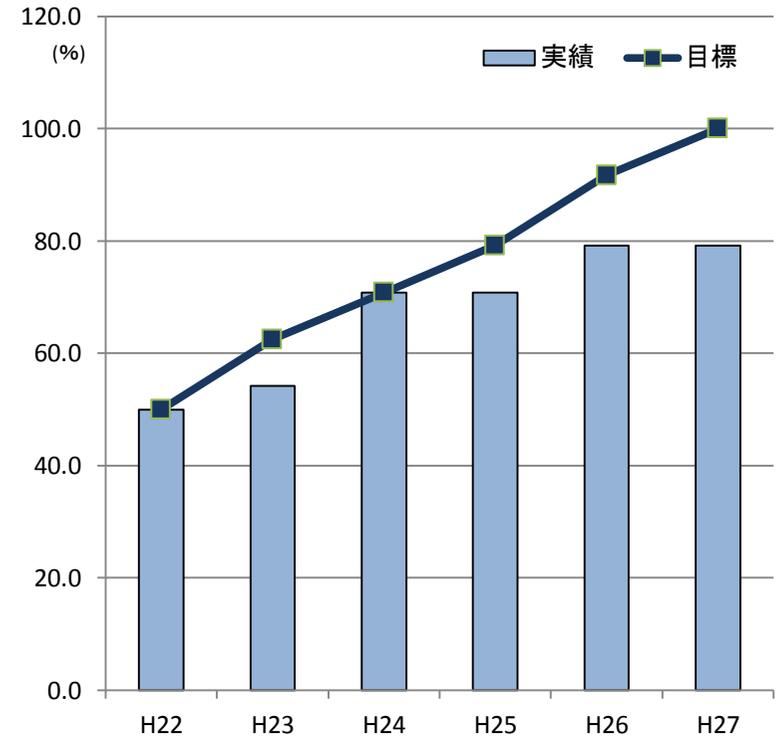
指標	基幹管路耐震化率
取組状況	27年度に予定していた配水管の布設・布設替5,419mに取り組んだほか、26年度から繰り越した配水管の布設・布設替4,418mについても取り組み、目標値を達成しました。また、過去5年間(H23-27)についても目標値を達成しており、更なる基幹管路耐震化率の向上を目指し、継続して事業を行います。



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
累積	目標	35.0	34.6	35.9	36.2	36.5	
	実績	34.3	35.4	35.7	36.9	37.5	37.8
	評価				S	S	S

#### 4. 2. 1施設の耐震化【下水道施設の耐震化】

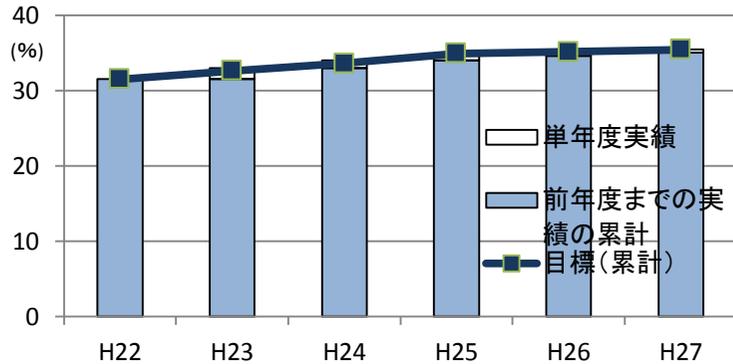
指標	下水処理場・ポンプ場耐震化率
取組状況	27年度に牟礼浄化苑の耐震補強工事の発注を行いました。当工事は28年度へ繰り越し、施工中です。牟礼浄化苑の耐震補強工事が完了することで、下水道施設の耐震化計画が完了する予定です。 (昭和56年5月31日以前に工事着手した建築物で、非木造2階建て以上または延べ床面積200㎡超の施設が対象)



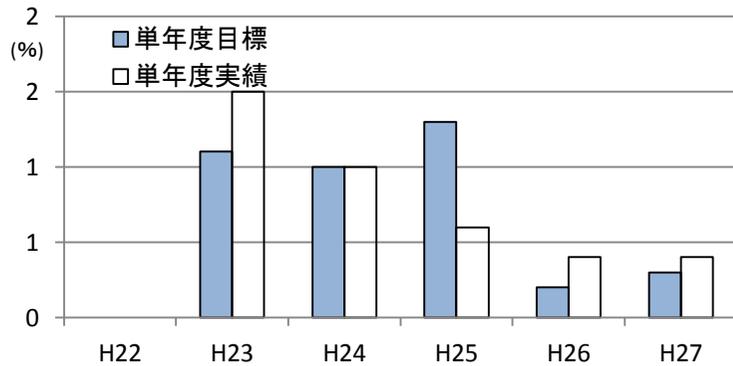
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
累積	目標	62.5	70.8	79.2	91.7	100.0	
	実績	50.0	54.2	70.8	70.8	79.2	79.2
	評価				A	A	B

4. 2. 1施設の耐震化【下水道施設の耐震化】

指標	下水管きょ耐震化率
取組状況	27年度においては、下水道管きょの新設時に、耐震対策を行った管きょをL=8,350m整備しました。引き続き、下水道管きょの耐震化を進めていきます。



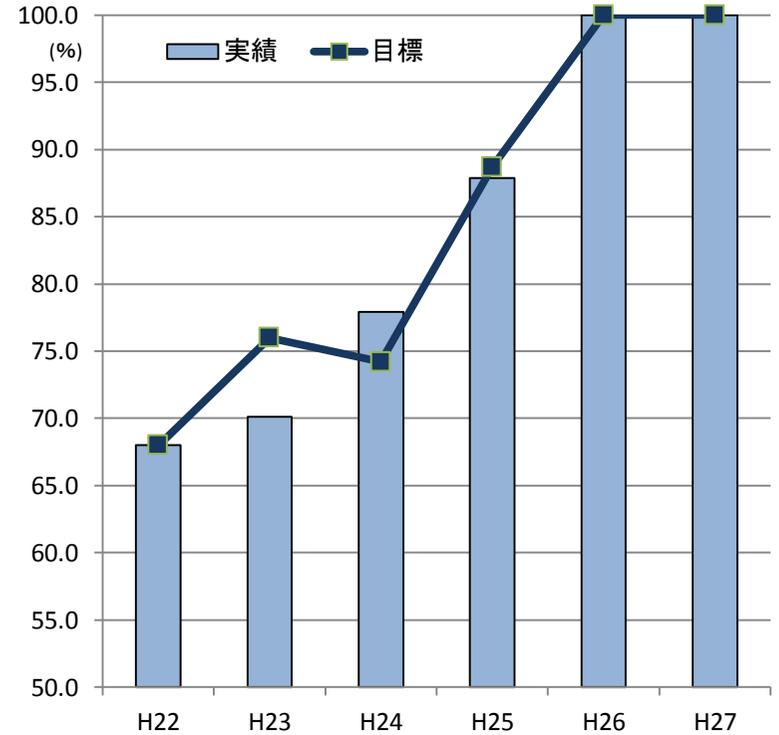
単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標	1.1	1.0	1.3	0.2	0.3	
	実績		1.5	1.0	0.6	0.4	0.4
	評価				D	S	S
累積	目標		32.6	33.6	34.9	35.1	35.4
	実績	31.5	33.0	34.0	34.6	35.0	35.4

4. 2. 3地域住民との連携の強化【自主防災組織の結成促進】

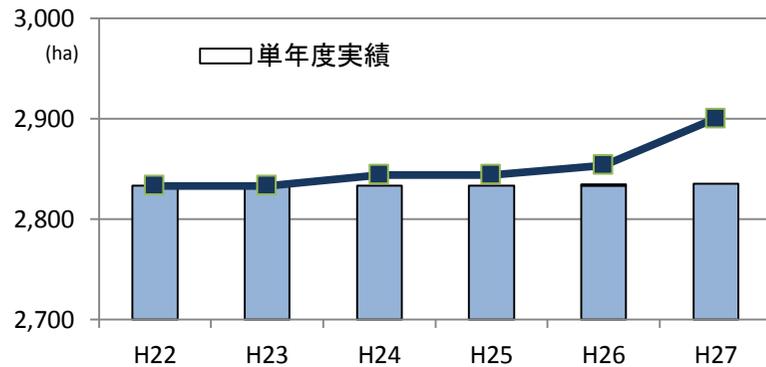
指標	自主防災組織の結成促進
取組状況	全ての地区で包括的自主防災組織の結成され、平成26年度に活動力バ率100%を達成しています。今後は、災害時において機能するよう育成に努めていきます。



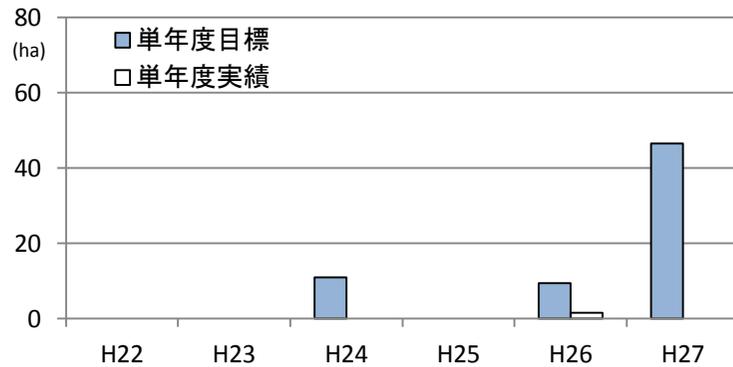
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		76.0	74.2	88.7	100.0	100.0
	実績	68.0	70.1	77.9	87.9	100.0	100.0
	評価				A	A	A

### 4. 3. 1 雨水対策の推進【雨水対策の推進】

指標	雨水対策整備済み面積
取組状況	27年度においては、雨水幹線整備として、香西第1雨水幹線のほか、仏生山第5雨水幹線などの整備を行いました。また、雨水ポンプ場整備として、福岡ポンプ場、香西ポンプ場の増設及び屋島西ポンプ場の整備を行いました。今後も引き続き、雨水対策の推進を図っていきます。



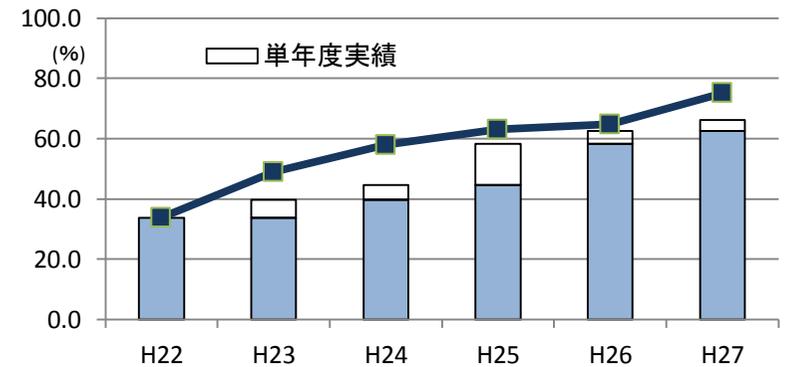
単年度ごとの比較



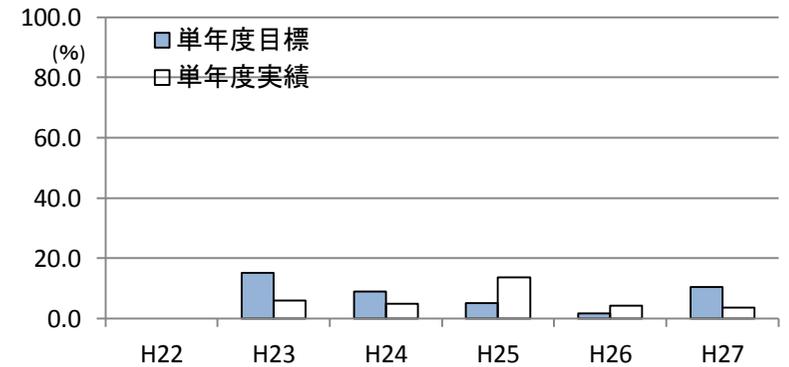
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		0	11	0.0	9.4	46.5
	実績		0	0	0.0	1.6	0.0
	評価				-	E	E
累積	目標		2,833	2,844	2,844	2,854	2,900
	実績	2,833	2,833	2,833	2,833	2,835	2,835

### 4. 3. 2 高潮等対策の推進【高潮等対策の推進】

指標	防潮堤整備による浸水(床上下)棟の解消率
取組状況	27年度に予定していた単年度目標値10.4%及び26年度までに予定していた整備について取り組みました。今後も、限られた予算の中で、引続き浸水被害の解消を図るため、県と連携を図りながら防潮堤等の早期整備に努めます。



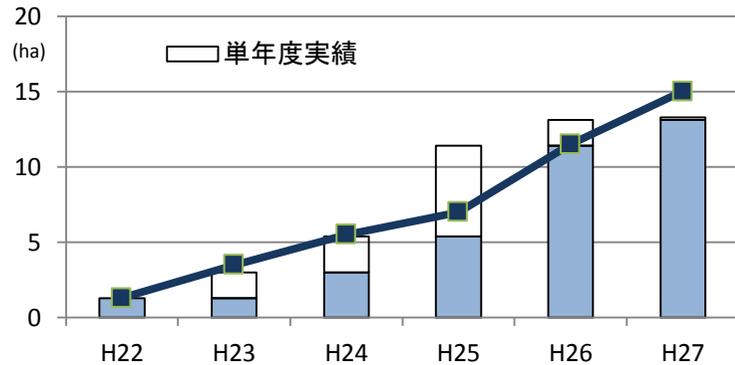
単年度ごとの比較



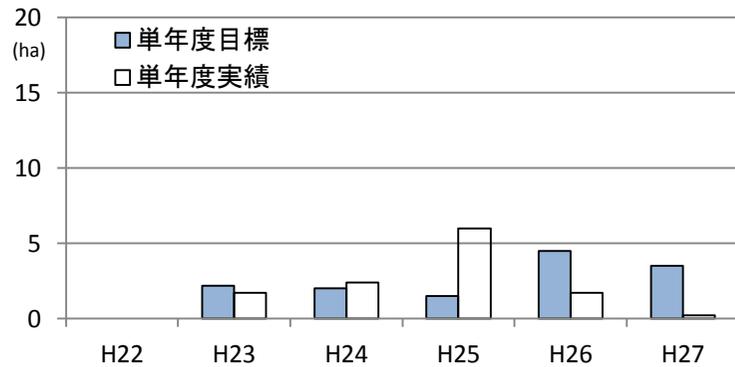
区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		15.1	9.0	5.1	1.7	10.4
	実績		6.0	4.9	13.6	4.2	3.6
	評価				S	S	E
累積	目標		48.9	57.9	63.0	64.7	75.1
	実績	33.8	39.8	44.7	58.3	62.5	66.1

4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【耕作放棄地の活用】

指標	耕作放棄地再生利用面積
取組状況	27年度については、取組主体が1主体しかなかったことにより、目標値を大幅に下回りました。28年度においては、補助事業の普及に努めて、耕作放棄地の再生利用を図っていきます。



単年度ごとの比較

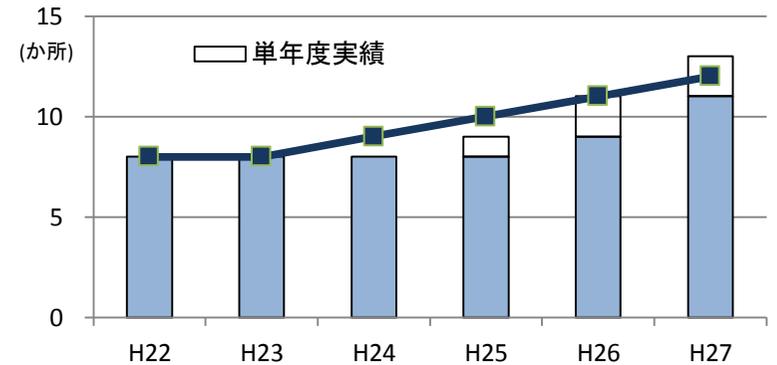


区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	2.2	2.0	1.5	4.5	3.5
	実績	1.7	2.4	6.0	1.7	0.2
	評価				S	E
累積	目標	3.5	5.5	7.0	11.5	15.0
	実績	1.3	3.0	5.4	11.4	13.1

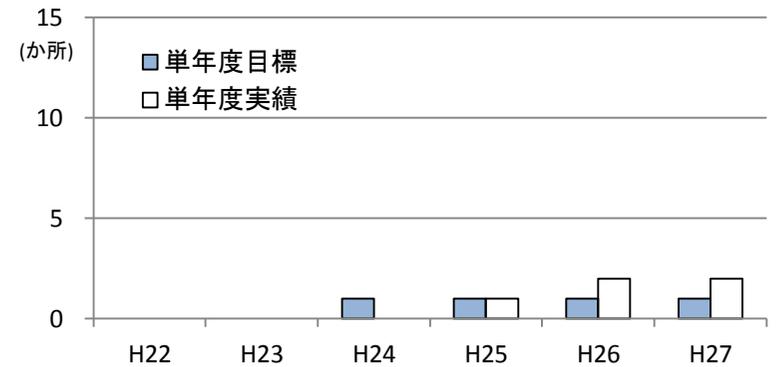
4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

指標	県営・団体営ため池整備か所数
取組状況	27年度においては、老朽ため池の整備について、県営2か所で整備を行いました。引き続き、適切なため池の保全に努めていきます。 本事業は、県や地元土地改良区が事業主体となって行うものであり、今後とも、適切なため池の保全が図られるよう、支援に努めてまいります。

県営



単年度ごとの比較

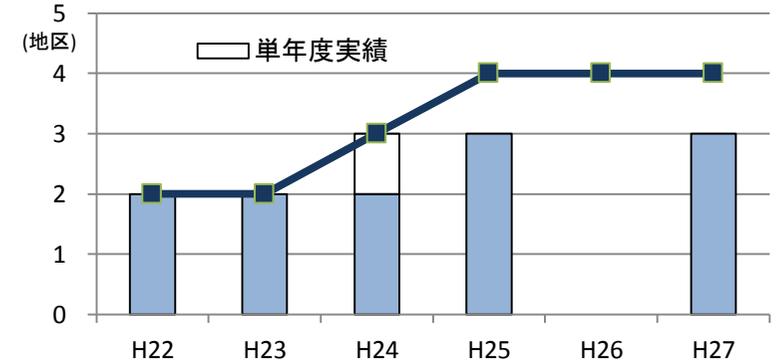
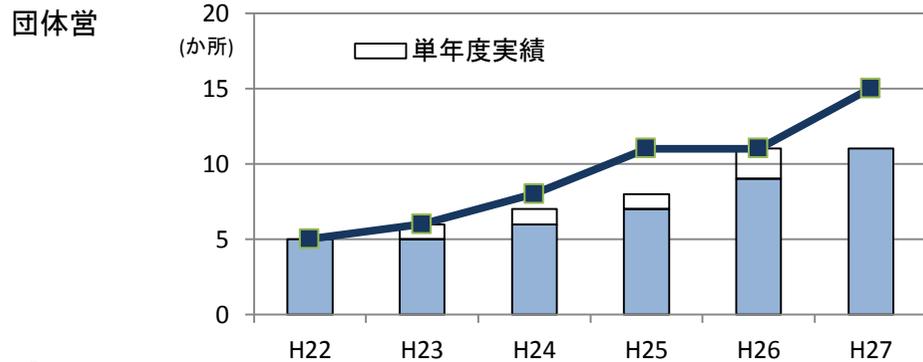


区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27
単年	目標	0	1	1	1	1
	実績	0	0	1	2	2
	評価	(団体営を合わせて)			D	S
累積	目標	8	9	10	11	12
	実績	8	8	8	9	11

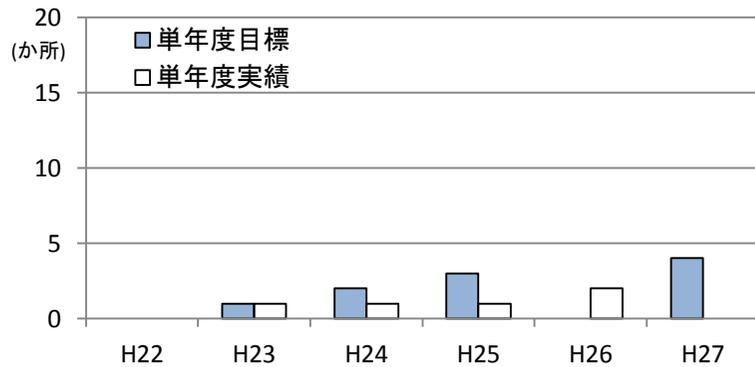
4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

4. 3. 3ため池・水田等の保全・活用【ため池の整備】

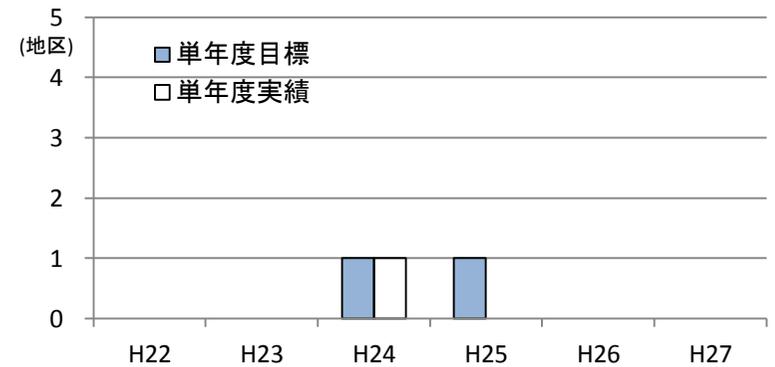
指標	ため池再編整備地区数
取組状況	27年度においては、ため池再編整備について、28年度ため池再編計画の策定に向け、関係機関等と事前協議に取り組みました。 今後においても、計画段階から、地元土地改良区等との協議について、関係機関との協力や支援に努めていきたいと考えている。



単年度ごとの比較



単年度ごとの比較



区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		1	2	3	0	4
	実績		1	1	1	2	0
	評価		(県営を合わせて)				
累積	目標		6	8	11	11	15
	実績	5	6	7	8	11	11

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
単年	目標		0	1	1	0	0
	実績		0	1	0	0	0
	評価				E	E	E
累積	目標		2	3	4	4	4
	実績	2	2	3	3	3	3

## 平成27年度 具体的取組評価表

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>基本方針1 身近な水環境の意識の強化</b>							
<b>1.1.1 啓発活動の強化</b>							
「我が家の水がめづくり」の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が家の水がめづくり 節水キャラクター「タメット」を活用した節水に関する事業や啓発活動を総称し、取組を推進しました。</li> <li>巧水キャンペーン 「水を巧みに使い、水を大切にしている高松」を全国発信し、水事情の厳しい夏場のイメージアップを図りました。</li> <li>また、水環境や節水に関心の薄い市民への啓発を強化するため、水を大切にするために実践していることなどを川柳で表現したものを募集し、「巧水スタイル」を推進しました。</li> <li>応募件数：847件</li> </ul>	57	71%	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>巧水キャンペーン 水環境や節水に関心の薄い市民への啓発を強化するため、水を大切にするために実践していることなどを川柳で表現したものを募集し、「巧水スタイル」を推進します。</li> <li>応募件数は、昨年度を上回る1000件程度を目指します。</li> </ul>	水環境対策室
広報媒体の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>「広報たかまつ」における、巧水キャンペーンのPR及び市のホームページにおいて、水環境基本計画第1期実施計画平成26年度実績報告書及び第2期実施計画を掲載し、水環境に対する意識啓発を実施しました。</li> <li>広報紙（1回掲載）、Facebook（1回掲載）、ホームページ掲載</li> </ul>	67	84%	B	B	<b>水環境データの情報取得性の向上（第2期実施計画取組名）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策課水環境対策室のホームページに、水環境に関する各種データの掲載箇所の案内を行い、簡単に知りたい情報が得られるようにします。</li> </ul>	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道局の独自広報紙「みんなの水」や市ホームページ、ケーブルテレビ、有線放送、Twitter、パンフレットを活用し、水環境や水資源の大切さに対する啓発を行いました。</li> <li>広報紙「みんなの水」（4回発行）、Twitter（1回）、ケーブルテレビ（1回）、有線放送（1回）市ホームページ掲載、パンフレット配布</li> </ul>	59	74%	B	B	（引き続き、水環境や水資源の大切さに対する啓発を行っていきます。）	企業総務課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
水に関する啓発イベント等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巧水キャンペーンのほか、8月1日から7日の「水の週間」にあわせて、節水型街づくり推進協議会が実施する「節水ウィーク」に参加しました。また、水道週間にあわせて、水源地紹介展及び水源地（高知県嶺北地域、高松市塩江町）の物産市を実施し、市民の水環境への興味・関心を高めるきっかけづくりを行いました。</li> </ul>	72	90%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、上下水道局、巧水スタイル推進チーム及び水源地と連携し、巧水スタイルヒント！ボードの活用や物産展を通して、水の有効利用について、広く市民に周知します。</li> </ul>	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>《水道週間関連行事》</li> <li>・「第43回水とわたしたち展」 6月1日から6月30日まで 市内の小中学生・一般を対象に募集した絵画・ポスター、習字、標語のうち入賞作品を展示 応募作品数 560点 (H26 636点)</li> <li>・「上下水道展・上下水道相談所」 6月1日から6月3日まで 水源保全活動を紹介したパネル展示、上下水道局職員による相談コーナー 相談件数 5件 (H26 9件)</li> <li>・「水道施設等見学会」 6月6日 浄水場等の見学会 参加人数 20人 (H26 15人)</li> <li>・「第18回夕ぐれコンサート」 6月6日 コンサートや水とわたしたち展の最優秀作品の表彰式のほか、「巧水（水を賢く使う）スタイル」のからくり装置等の展示 参加人数 約1,000人 (H26 約800人)</li> <li>《水の週間関連行事》</li> <li>・「親子上下水道教室」8月6日 上下水道施設見学や水質実験 参加人数 50人 (H26 26人)</li> <li>《下水道の日関連》</li> <li>・「施設見学会」 10月14日 16人 (上下水道モニター、上下水道事業経営懇談会委員対象) 水質管理センター、椋川ダム建設現場の見学を行った。 水に関するイベントを開催し、イベントごとのアンケートでも概ね好評を得ている。</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に関するイベントの開催 水道週間関連行事 「第44回水とわたしたち展」 「上下水道展」 「水道施設等見学会」 「第19回夕ぐれコンサート」 水の週間関連行事 「親子上下水道教室」 下水道の日関連行事 「施設見学会」</li> </ul>	企業総務課
<b>1.1.2各種データの管理体制の整備と情報公開</b>							
水環境に関するデータの集約化とワンストップでの情報公開の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー広告を掲載し、水環境の「見える化」及び「水環境に関するデータの集約化とワンストップでの情報公開」を実施しています。</li> <li>また、上下水道局とのリンクを貼り、毎日の給水量の配信もしています。</li> </ul>	60	75%	B	B	水環境データの情報取得性の向上（第2期実施計画取組名）に集約	水環境対策室
水環境の「見える化」の検討	平成27年度 アクセス数：4,700件(推定)						
<b>1.1.3節水型機器の普及促進</b>							
節水型機器の普及の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページ及び巧水キャンペーン等水に関するイベントにおいて、節水方法や節水機器の紹介を行い、節水及び節水意識の啓発を行いました。</li> </ul>	67	84%	B	B	「巧水（たくみ）スタイル」の普及促進（第2期実施計画取組名）	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の上手な使い方」や「節水」をテーマにした「上下水道知ってトーク」を実施しました。</li> </ul>	59	74%	B	B	(引き続き、知ってトーク等で紹介していきます。)	

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
節水・循環型水利用計画書の提出・指導等	・水を大切に使う循環型都市を目指し、市民・事業者・行政の協働による取組を進めるため、「高松市節水・循環型水利用の推進に関する要綱」に基づき、延べ面積2千平方メートル以上の大規模建築物を建築する際、節水・循環型水利用計画書の提出依頼及び指導を実施しました。 提出件数15件	52	65%	C	B	・節水・循環型水利用計画書の提出漏れを防ぐため、関係各課との連携を強めるとともに、施工主に依頼、指導を行います。	水環境対策室
「巧水（たくみ）スタイル推進チーム」への参加	・H28.3.25（東京） 巧水スタイル推進チーム全体会議に出席し、第2期実施計画策定について報告しました。また、27年度事業報告及び28年度事業計画等の検討を行い、巧水ボードの展示を巧水スタイル推進チームとして行いました。	64	80%	B	B	「 <u>巧水（たくみ）スタイル</u> 」の普及促進（第2期実施計画取組名）に集約	水環境対策室
<b>1.1.4節水型料金体系の検討</b>							
節水型料金体系の検討	・平成24年9月に策定した高松市上下水道事業基本計画について、基本方針に基づく4年毎の見直しに当たり、持続可能で健全な企業運営を行えるよう、真に必要な財源と費用負担の公平性の確保に努めながら現行料金水準の維持を基本とする、将来を見据えた水道料金の適正化について検討しました。	61	76%	B	B	（第2期実施計画取組名期間中の料金改定は実施しない予定です。）	お客さまセンター
<b>1.2.1学校等での環境教育の推進</b>							
小・中学校における水環境学習の推進	・市内の中学生が参加し、香川用水の水源地環境の見学や体験型学習を通して、水環境への関心を深め、節水や水質保全などの実践行動への意識を高めました。参加校 17校 参加生徒数 3,010人 ・総合的な学習の時間や社会科の授業等を通して、副読本を活用した水環境学習の充実に努めました。	61	76%	B	B	・市内の中学生が参加を計画し、水源ダムや関連施設等を活用した体験型学習を通して、水環境への関心を高め、節水や水質保全などの実践行動につなげていきます。 ・副読本を活用して、小学校の総合的な学習の時間や社会科の授業等における水環境学習を充実させていきます。	学校教育課
子どもに対する水環境学習の場の確保	・「こどもエコクラブ」については、国の事業としては平成22年度の事業仕分けで廃止されましたが、民間の自主事業として継続されており、27年度末現在で1クラブが登録されています。	40	50%	D	D	（水環境基本計画には位置付けませんが、こどもエコクラブに対して、他の環境学習活動と同様に、講座開催に対する講師謝金などにより支援に努めます。）	環境保全推進課
<b>1.2.2生涯学習の場における環境教育の推進</b>							
環境学習講座等の実施	・生涯学習センター、コミュニティセンターや環境保全推進課分室などにおいて、環境学習講座を開催するとともに、広報誌やホームページにより周知に努めました。 また、環境活動団体との意見交換会などにより、情報収集に努め企画内容の改善に努めました。 講座開催回数：80回 受講者数：2,611人	63	79%	B	B	・27年度に引き続き、環境学習講座を開催していくとともに、環境活動団体や関係機関と協力し、磯の観察会などの自然観察体験事業を実施します。	環境保全推進課
	・生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、水問題学習や環境問題学習を内容とした講座を開催しました。 講座開催回数：248回、受講者数：8,742人（うち、水問題9回、253人）	58	73%	B	B	・生涯学習センターやコミュニティセンターにおいて、水問題学習や環境問題学習を内容とした講座を開催することにより、市民の環境に関する意識の啓発を図ります。	生涯学習課 生涯学習センター

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>1.3.1地域コミュニティ・市民活動団体・企業との協働推進</b>							
地域コミュニティや市民活動団体への支援	・平成27年度ゆめづくり推進事業では、地域コミュニティ協議会から水環境に関する提案がありませんでした。	-	-	-	-	・ゆめづくり推進事業では、水関連の環境保全促進事業に取り組む地区もあり、今後も、地域コミュニティ協議会と協働し、水に関する環境保護活動への取組提案についても、採択する予定です。	コミュニティ推進課
地域コミュニティ等における環境学習・環境行動の支援	・生涯学習センターやコミュニティセンターなどからの依頼により、講師派遣を行なうとともに、自主的な学習活動を行う環境活動団体等に補助金を交付することにより、その活動を促進し、意識の高揚や協働の推進に努めました。 環境学習事業補助利用件数：2件	61	76%	B	B	<b>環境学習講座等の実施（第2期実施計画取組名）に集約</b>	環境保全推進課
環境リーダーの活用	・環境リーダー養成講座修了者の一部は、自主的に地元の清掃活動を行ったり、地域における虫の育成に取り組んでおり、不法投棄されたごみの回収や情報交換を行うことにより、活動の支援に努めました。	58	73%	B	B	・環境リーダーを環境学習活動に活用するとともに、清掃や虫の育成など、自主的な活動に対しても、支援を継続していきます。	環境保全推進課
<b>1.3.2上流・下流地域間の連携・協力・交流の促進</b>							
水源地域でのボランティア清掃の実施	・クリーンウォークin塩江 H18年度から開始。27年度は、11月22日に実施。 地元住民、ボランティアなどの参加があり、約1.7トンのごみを回収しました。前年より微増しているものの、当初から比較するとごみの回収量が減少傾向であることから、環境美化意識の向上が図られています。	58	73%	B	B	・水源地域である塩江町住民と、その自然の恵みを受取る者が、手を携え塩江町を清掃しながら歩くことで、環境の維持及び環境保護に対する意識の向上を図ります。	環境指導課 適正処理対策室
	・早明浦ダム周辺ボランティア清掃 水源保全や水源地域に対する理解と関心を高め、かつ、水資源の大切さに対する意識啓発を図ることを目的に、市民と行政が協働で本市の水道水源である早明浦ダム周辺の清掃を行いました。 実施日 11月7日 参加者 公募市民61人を含む144人（H26 公募市民79人を含む183人） ・地元水源地清掃の実施	59	74%	B	B	・早明浦ダム周辺ボランティア清掃の実施 水源保全や水資源の大切さに対する意識啓発を図ることを目的に、市民と行政が協働で本市の水道水源である早明浦ダム周辺の環境保全活動を実施予定です。	企業総務課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
水源地域との交流活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域との交流 水道週間の関連行事である「上下水道展」開催期間（6月1日～3日）において、早明浦ダム周辺の嶺北地域や塩江町を紹介するコーナーを設置し、特産品の展示を行うとともに最終日（3日）には、特産品の販売を行い、水源地域と利水地域の相互交流を図りました。</li> <li>・早明浦湖水祭（シンポジウム）への参加 水資源開発の尊い犠牲となられた方々に感謝と敬弔の意を捧げ、水の有効利用、水源涵養思想の高揚、水源地域と利水地域の経済・文化の交流を深めることを目的とする早明浦湖水祭（シンポジウム）（8月1日（土）開催）に参加しました。</li> <li>・水域交流展覧会への出展 四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会に、書道・絵画を出展しました（高松一高、本市職員レクリエーション班）。</li> </ul>	75	94%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道展における水源地域との交流物産展の開催</li> <li>・早明浦湖水祭（シンポジウム）への参加</li> <li>・四国三郎吉野川源流・利水域交流美術展覧会出展</li> </ul>	水環境対策室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域と利水地域の相互交流及び水源保全並びに水源地域に対する理解と関心を高めるため、講演会など、嶺北4か町村主催の早明浦シンポジウム（早明浦湖水祭）に参加しました。 実施日 8月1日（土） 早明浦シンポジウムに対する市民の関心は高く、今後も、継続的な実施が望まれています。</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早明浦シンポジウム（早明浦湖水祭）への参加を予定しています。</li> </ul>	企業総務課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」（H27.8.7～8） 本市と嶺北地域の子どもたちが早明浦ダムを見学し、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、カヌーやクラフトバンドかご作り、自転車発電機の体験などを行い、お互いの交流と親睦を図りました。参加児童数：36人</li> <li>・高松・嶺北子ども交歓会（H27.11.28～11.29） 嶺北地域の子どもたちを高松に迎えて、御殿浄水場を見学し、水道水の仕組みについて学ぶとともに、新屋島水族館をはじめ、レクリエーションや星の観察会の体験等を行い、お互いの交流と親睦を図りました。参加児童数：34人 参加児童へのアンケートによる満足度 88.2% 本市と嶺北地域の子どもたちが、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、相互交流を図ることができたことは有意義でありました。</li> </ul>	72	90%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早明浦湖水祭「四国の子ども交歓会」への参加 本市と高知県嶺北地域の子どもたちが早明浦ダムを見学し、水の大切さや有効利用について学ぶとともに、自然を生かした体験活動により、お互いの交流を図ります。</li> <li>・高松・嶺北子ども交歓会の実施 嶺北地域の子どもたちを迎えて、御殿浄水場を見学し、水道水の仕組みについて学ぶとともに、様々な体験活動により親睦を図ります。</li> </ul>	生涯学習課
香東川上流・下流地域における交流事業の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域との交流 水道週間の関連行事である「上下水道展」開催期間（6月1日～3日）において、塩江町を紹介するコーナーを設置し、特産品の展示を行うとともに最終日（3日）には、特産品の販売を行い、水源地域と利水地域の相互交流を図りました。</li> </ul>	69	86%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道展において水源地域との交流物産展を開催します。</li> <li>・水源地活性化調査の取組に対して、支援を行います。</li> </ul>	水環境対策室

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>基本方針2 水循環の健全化</b>							
<b>2.1.1自己処理水源の確保</b>							
新規水源の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深井戸水に多く含まれている鉄、マンガンを除去するための、除鉄、除マンガン施設工事及び奥の池取水塔に深井戸用ポンプ設置等の電気工事が完成し、平成27年7月末から取水を開始しています。</li> <li>・柗川ダムについては、総事業費2,310,000千円のうち、902,000千円分について負担しました。</li> </ul> 自己処理水源の確保：44.9%	70	88%	A	A	柗川ダム建設事業については、引き続き参画していきます。	浄水課
<b>2.1.2水道施設の整備</b>							
浄水施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅野浄水場の整備は、柗川ダム水の取水に合わせ施設を更新していく計画であり、平成28年3月に、急速系浄水施設の整備工事（急速系浄水施設築造工事、急速系電気設備工事）及び再生可能エネルギー設備工事（太陽光、小水力発電）が完成し、平成28年3月から緩速系処理施設改修工事（緩速ろ過池、RC配水池）を行っています。</li> <li>・川添浄水場については、老朽化している中央監視制御設備の更新工事を、平成27、28年度の2年間でやり、坂瀬取水ポンプ所に原水の水質悪化に対応するため活性炭注入設備を設置しています。</li> </ul>	70	88%	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅野浄水場については、急速系浄水施設の整備工事及び再生可能エネルギー設備工事の完成し、緩速系処理施設改修工事（緩速ろ過池、RC配水池）を平成27、28年度の2年間で実施します。</li> <li>・川添浄水場については、老朽化している中央監視制御設備の更新を平成27、28年度の2年間で実施します。</li> </ul>	浄水課
老朽管路の計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管網整備計画に基づき計画どおり執行できました。今後も優先順位の見直しも考慮し、効率的・効果的に行う必要があります。</li> <li>また、老朽鋳鉄管・口径75mm～900mm・延長4,470m及び老朽ビニル管・口径50mm～250mm・延長3,702m合計8,472mを更新しました。</li> <li>配水管布設替延長（22年度を基準とした延べ数）43,736m</li> </ul>	71	89%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽鋳鉄管口径150mm～900mm、延長3,790mの更新を行います。</li> <li>・老朽ビニル管口径50mm～200mm、延長9,780mの更新を行います。</li> </ul> 合計13,570m	水道整備課
漏水監視体制等の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水を早期に発見するため、高松市内を市街地区とその他地区に分割し、更に市街地区を2分割し隔年毎に、その他地区を3分割して3年毎に漏水調査を実施しました。</li> <li>漏水率：4.8%以下</li> <li>市街地区漏水調査：167km</li> <li>その他地区漏水調査：518km</li> <li>随時特定漏水調査：150件</li> <li>漏水防止工事：148件</li> <li>平成27年度に漏水調査を行った結果、発見件数498件 3,084㎡の漏水を未然に防止できました。</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水調査</li> <li>市街地区：198km</li> <li>その他地区：492km</li> <li>個別音調調査：70,026戸</li> <li>随時特定調査：140件</li> <li>漏水防止工事：130件</li> </ul>	維持管理課
<b>2.1.3水道水質の管理</b>							
水道GLPの維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年2月に認定を取得した水道GLP（水道水水質検査優良試験所規範）に基づき、厳格な水質検査体制を維持してきましたが、平成25年1月に4年目の更新審査を受審し、改めて水質検査の技術力と信頼性の高さが第三者機関の（公社）日本水道協会より認められました。</li> <li>平成25年2月24日水道GLP適合認定更新</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、水道GLPに基づく厳格な管理体制のもと、水道水の水質検査を実施し、水道水の安全性の確保を図ります。</li> </ul>	浄水課水質管理センター
水道原水の異常監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各浄水場における24時間体制の原水水質の監視を実施したほか、水質管理センターにおいて策定する水質検査計画に基づき、水源及び浄水処理工程の水質検査を実施することにより、水源異常の早期発見に取り組みました。</li> <li>平成27年度水質検査計画 水源及び原水水質検査 総検査数 11,646件</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各浄水場での24時間体制の原水水質の監視を継続するとともに、平成28年度水質検査計画に基づき、水源及び浄水処理工程の水質検査を実施し、水源異常の早期発見に取り組みます。</li> </ul>	浄水課水質管理センター

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
鉛製給水管の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛管引替工事助成金制度を拡充し、各種広報やコミュニティセンターへのチラシ配布を実施するとともに、鉛管使用世帯への戸別通知を実施し、鉛管の使用状況や鉛管滞留水の適正な利用と助成金交付制度の利用啓発を行いました。また、単独事業による鉛管取替工事のほか、道路舗装打換工事や配水管布設替工事等、あらゆる工事の機会をとらえて、効率的に取替を実施しました。</li> <li>鉛製給水管解消件数：3, 136件</li> <li>助成金交付制度を利用した引替件数が増加したが、他工事による取替件数の減少により、目標を達成することができませんでした。</li> </ul>	48	60%	C	C	<b>鉛製給水管に関する情報提供及び引替工事助成制度の周知（第2期実施計画取組名）</b> 各種工事による鉛製給水管引替えの推進（第2期実施計画取組名） <ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙やホームページ、検針票裏面の活用及びコミュニティセンターへのチラシ配布など従来の広報に加え、平成28年度も引き続き戸別通知を実施し、助成金交付制度の利用啓発を図るとともに、道路舗装打換工事や配水管布設替工事等、あらゆる工事の機会をとらえて、効率的に取替を推進することにより、鉛製給水管の早期解消に努めていきます。</li> </ul>	給排水設備課
<b>2.2.1 雨水貯留施設の整備</b>							
雨水貯留施設設置に関する助成制度の積極的な周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報紙「みんなの水」(8/15号)及びホームページを通じて、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行いました。</li> <li>小規模雨水貯留タンク数：47基</li> <li>中・大規模雨水貯留施設数：2基</li> <li>不要浄化槽の雨水貯留施設数：16基</li> <li>目標(件数)に対して、約3割程度の実績でありました。</li> </ul>	49	61%	C	C	27年度から、補助率と上限額を増やし、自己負担を軽減する制度に改正していることから、広報紙「みんなの水」及びホームページを通じて、引き続き、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行います。 (目標) 小規模雨水貯留タンク数：120基 中・大規模雨水貯留施設数：3基 不要浄化槽の雨水貯留施設数：77基	給排水設備課、 企業総務課
市施設での貯留施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>市施設において、山田中学校ほか4施設に雨水貯留施設を設置しました。(総貯水容量111m<sup>3</sup>)</li> </ul>	53	66%	C	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>市施設において、雨水貯留施設の設置を推進します。</li> </ul>	水環境対策室
<b>2.2.2 下水処理水再生水の利用促進</b>							
再生水利用の積極的な周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを通じて、下水処理再生水の利用促進について、PRを行いました。</li> <li>再生水利用制度は、一般家庭を対象とした制度ではなく、利用促進を図ることは難しいが、再生水への理解を求めたいと考えています。</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ホームページで、下水処理再生水の利用促進を図るため、PRを行います。</li> </ul>	企業総務課
計画的な再生水管の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>1施設で供給を開始したことにより、27年度末現在62施設へ供給を行っています。</li> </ul>	59	74%	B	B		下水道整備課
<b>2.2.3 地下水の適正利用</b>							
県・市条例に基づく揚水施設設置等の届出	<ul style="list-style-type: none"> <li>揚水施設設置等の届出について</li> <li>香川県生活環境の保全に関する条例及び高松市公害防止条例に基づき、揚水機の吐出口の断面積が19cm<sup>2</sup>を超えるものを設置する場合の届出指導を行いました。(H27年度届出件数 県条例1件、市条例2件)</li> <li>地下水の有効利用と地盤沈下等の未然防止を図るため、引き続き届出指導をする必要があります。</li> </ul>	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、県・市条例に定める揚水施設設置等の届出について指導します。</li> </ul>	環境指導課
水道水源としての地下水の適正取水量の調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に深井戸を1井掘削し、予定していた4井の掘削が完了しました。また、深井戸4井同時揚水試験等の結果を香川中央地域地下水利用対策協議会に諮り、渇水時の取水基準の緩和について了承されました。</li> <li>前処理施設である除鉄、除マンガン施設工事及び奥の池取水塔電気工事についても平成27年7月末に完成し、深井戸から約3,000m<sup>3</sup>/日の取水が可能となりました。</li> </ul>	70	88%	A	A	水道水源としての地下水の適正な取水（第2期実施計画取組名） <ul style="list-style-type: none"> <li>除鉄、除マンガン施設工事及び奥の池取水塔電気工事が完成し、深井戸から3,000m<sup>3</sup>/日の取水が可能となりました。また、渇水時には取水基準が緩和され、深井戸1井当たり1,000m<sup>3</sup>/日の取水が可能となり、深井戸4井で4,000m<sup>3</sup>/日が取水できるようになりました。今後は、周辺深井戸等で水位観測を行い適正な取水を行います。</li> </ul>	浄水課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>2.3.1水源地・水源林の保全</b>							
森林整備の推進、造林助成事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備 分収契約を締結している森林について、本市が造林事業を実施しました。</li> <li>・造林助成 森林所有者が行う造林事業に対し、国・県と連携し、補助を行いました。 森林資源の造林を行い、水源涵養や国土保全が図られました。 分収造林事業による年間間伐・枝打ち面積（延べ数）695ha</li> </ul>	64	80%	B	B	<u>第2期実施計画期間においては、香川県フォレストマッチング推進事業への参画など水源地・水源林の保全を図ります。</u>	農林水産課
「いざ里山」市民活動支援事業等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体等の活動を支援 居住地近くで、従来、生活の一部として利用されていた里山を保全するとともに、市民が身近な自然を見直すきっかけづくりのため、地域住民等が行う里山の保全活動を支援しました。</li> <li>・里山の保全に関連する幅広い活動への支援 イニシャルコスト（初期投資費用）及びランニングコスト（維持管理費用）を、5年間で限度額100万円支援します。今年度は、新たに募集した4団体（1団体のみ25年度から継続）の活動を支援しました。 年間整備保全面積 2.85ha</li> </ul>	63	79%	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度から活動している4団体に、28年度より新たに募集した2団体を加えた6団体に対し、5年間の支援を行います。</li> <li>・毎年2団体程度の公募を行い、活動団体の更新及び整備保全面積の拡大を図ります。</li> </ul>	農林水産課
不法投棄防止監視パトロール等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止監視パトロール 職員による定期監視パトロールを平日85日、休日5日、計90日の121回実施。高松市全域においての不法投棄発見件数は、計74件あり、1,051.5kgの軽易な不法投棄物の回収を行いました。</li> <li>・不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦 H27年度は8件のクリーン作戦を実施し、地元住民、市民・企業ボランティアなど延人員約7,122名が参加し、総重量27.8トンのごみを回収した。なお、塩江地区不法投棄撲滅クリーン作戦は1回開催し、800名が参加し、1.7tのごみを回収しました。 クリーン作戦によるごみの回収量は年々減少傾向であり、環境美化意識の向上が図られている。</li> </ul>	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止監視パトロールを市内全域において実施するほか、不法投棄多発地帯には、土地管理者等に、不法投棄の防止看板や対応策を指導するなど、防止に取り組みます。</li> </ul>	環境指導課 適正処理対策室
<b>2.3.2地下水の涵養</b>							
雨水浸透施設設置助成制度の積極的な周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「みんなの水」（8/15号）及びホームページを通じて、雨水貯留施設に関する助成制度の周知・啓発を行いました。 雨水浸透施設設置費助成制度による浸透ます設置数：3基</li> </ul>	49	61%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「みんなの水」及びホームページを通じて、引き続き、雨水貯留浸透施設に関する助成制度の周知・啓発を行います。</li> </ul>	給排水設備課
市道や市施設での雨水浸透施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度は公園東門線及び鶴尾9号線において施工しました。  透水性舗装整備済累計延長 11,410m うち、都市計画道路整備済 1,475m うち、その他市道整備済 9,935m</li> </ul>	68	85%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の著しい歩道の打換えや用途区域内の都市計画道路など新設道路整備に併せて透水性舗装を効率よく整備する予定としています。</li> </ul>	道路整備課・道路管理課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>2.4.1 汚水処理施設の整備</b>							
公共下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松、香川、香南、国分寺、牟礼地区において、汚水管をL=7,945m整備し、公共下水道の普及に取り組みました。</li> <li>公共下水道整備済面積：5,469.1ha</li> </ul>	66	83%	B	B	<b>下水道施設の長寿命化（第2期実施計画取組名）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道計画区域内の未整備地区において、汚水管整備を行うとともに、既設管きよ、下水処理場、ポンプ場の長寿命化を図るため、計画的な改築、更新を行います。</li> </ul>	下水道整備課
合併処理浄化槽の設置促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併処理浄化槽の設置者に対して、補助金の交付を行いました。</li> <li>補助金交付数：888基</li> <li>合併処理浄化槽の整備促進が図れたほか、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換も大幅に進みました。</li> </ul>	61	76%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は1,000基の予算を見込んでおり、引き続き、合併処理浄化槽の整備促進を図ります。</li> <li>単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換について、平成25年度から上乗せ補助制度を実施しており、今年度も制度の継続を行い、同制度の積極的な活用の周知・啓発を行います。</li> <li>（目標） 補助金交付数：1,000基 （うち、単独転換基数：200基）</li> </ul>	給排水設備課
<b>2.4.2 合流式下水道の改善</b>							
合流式下水道改善対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>合流区域において、未処理放流の回数を半減させるための対策施設を設置しました（H26事業完了）。</li> <li>合流式下水道改善率：100%</li> </ul>	-	-	-	A	平成26年度に事業完了	下水道整備課
<b>2.5.1 上・下水道部門の統合による水環境行政の連携</b>							
組織統合による水環境行政の総合的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度末に解散した（財）高松市水道サービス公社職員を、25年度から移設工事業務、浄水管理業務及び下水維持業務で活用したことで、効率的な業務執行体制を構築しました。</li> </ul>	57	71%	B	B	香川県広域水道企業団（仮称）の設立準備と並行して、下水道組織のあり方を検討します。	企業総務課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>基本方針3 良好な水辺環境の創出</b>							
<b>3.1.1生活排水対策の推進</b>							
家庭における生活排水対策の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質汚染の防止を図るため、環境保全推進課分室及び22か所のコミュニティセンターに持ち込まれた家庭用廃食油の収集を、高松市消費者団体連絡協議会及び各地区コミュニティ協議会に委託するとともに、廃食油を持参した方に粉石けん（又はキッチンペーパー）を提供し、適正使用の啓発に努めました。</li> <li>収集日数 96日</li> <li>収集量 6,408リットル</li> <li>前年度と比べ、委託先のコミュニティ協議会数は1、収集量は288リットル（前年度6,696リットル）減少しました。</li> </ul>	48	60%	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境業務センター（28年度より環境保全推進課分室から変更）及び22か所のコミュニティセンターに持ち込まれた家庭用廃食油の収集を、高松市消費者団体連絡協議会及び各地区コミュニティ協議会に委託するとともに、廃食油を持参した方に、粉石けん（又はキッチンペーパー）を提供します。また、消費者団体連絡協議会と連携し、環境にやさしい石けんづくりによる啓発等、市民の環境意識の向上に努めていきます。</li> </ul>	くらし安全安心課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、公共下水道への接続、家庭からの排水の適正な処理など生活排水対策の推進について、広報紙で特集し、市民に周知・啓発しました。</li> </ul>	59	74%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、生活排水対策の推進のため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、浄化槽の適正な管理、公共下水道への接続などについて、ホームページや広報紙でPRを行います。</li> </ul>	企業総務課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道への未接続世帯に対する接続依頼文書の配付や戸別訪問指導の実施により早期接続を促進しました。</li> <li>効率的な促進活動を行うため、上下水道局全課体制での未接続世帯への集中的な戸別訪問を3回実施しました。</li> <li>公共下水道接続率： 91.1%</li> </ul>	71	89%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>供用開始時の関係世帯への接続依頼・チラシの戸別配布を行うほか、未接続世帯に対する戸別訪問指導や接続依頼文書の送付、広報紙による周知・啓発など、従来の未接続対応体制を継続するとともに、接続依頼計画・方法などを検証しながら、引き続き、全局体制による戸別訪問を行うなど、個々の世帯の実情に合わせた計画的かつ効率的な接続促進活動を行うことにより、更なる接続率向上に努めていきます。</li> </ul>	給排水設備課
<b>3.1.2事業場等排水対策の推進</b>							
法令等に基づく工場・事業場等排水の監視・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場・事業場の監視</li> <li>市内延べ137箇所の工場・事業場に対し、立入検査を実施し、水質検査結果が規制基準値を超過した延べ15事業場に対して指導を行いました。苦情受け付け件数はH27年度21件あり、引き続き、事業場排水対策を推進するため、工場・事業場の排水の監視・指導を行う必要があります。</li> </ul>	66	83%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、工場・事業場の排水の監視・指導を行います。</li> </ul>	環境指導課
環境保全型農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>農薬・肥料の適正使用啓発</li> <li>春・秋に開催するごじまん野菜塾において農薬・堆肥の適正使用等について指導しました。また、事業用パンフレットに「農薬の適正使用」について掲載して啓発を行った。</li> <li>堆肥処理関連機械導入</li> <li>スキッドステアローダ 1台導入</li> <li>ごじまん野菜塾参加人数 35人</li> </ul>	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>農薬・肥料の適正使用啓発</li> <li>ごじまん野菜塾等を通じて農薬・堆肥の適正使用等の普及啓発に努めます。</li> <li>また、堆肥処理関連機械を導入し、堆肥化の推進を行います。</li> <li>堆肥処理関連機械導入</li> <li>スキッドステアローダ 1台導入予定</li> </ul>	農林水産課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>3.1.3河川・ため池の浄化対策の推進</b>							
河川・ため池の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川・ため池の水質監視 市内10河川12地点、16のため池で水質測定を実施し、速報値を環境指導課ホームページで公表しました。良好な水環境を保全するため、引き続き、河川・ため池の水質監視を行う必要があります。 河川の環境基準達成率：67%</li> </ul>	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、公共用水域の水質監視を行います。</li> </ul>	環境指導課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境指導課が水質測定計画に基づき採水した河川やため池の水質検査を上下水道局浄水課水質管理センターで受託し、異常等が見られた場合、速報する体制を整えています。また、水道水の水源となっている河川やため池については上下水道局水質検査計画に基づき検査・監視を行い、その結果をホームページで公表しています。 河川・ため池の水質受託件数： 3,164件 水質検査計画河川・ため池検査数： 2,780件</li> </ul>	57	71%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>(引き続き、環境指導課の事業を受託予定)</li> </ul>	浄水課 水質管理センター
ため池の浚渫等推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池の水質改善等を図るため、農業従事者等の理解を得ながら、池干しによる水の入替えやため池の浚渫を推進しました。 浚渫したため池のか所数 8か所</li> </ul>	45	56%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池の水質改善等を図るため、農業従事者等の理解を得ながら、池干しによる水の入替えやため池の浚渫を推進します。</li> </ul>	土地改良課
<b>3.1.4地下水の水質監視等</b>							
土壌汚染対策法等の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>土壌汚染対策法等の適切な運用 有害物質使用特定施設の使用の廃止時や、一定規模以上の土地の形質変更の届出による、調査・審査等を行いました。 H27年度審査件数 使用廃止時3件、形質変更58件 地下水汚染を未然に防止するため、引き続き、土壌汚染対策法等の適切な運用を行う必要があります。</li> </ul>	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、土壌汚染対策法等の適切な運用を行います。</li> </ul>	環境指導課
地下水の水質監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水の水質監視 市内7地点で概況調査を実施した結果、6地点で環境基準を達成していました。 地下水の水質監視は、発生源周辺の定点7地点での調査を継続しました。</li> </ul>	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>法令等に基づく工場・事業場等排水の監視・指導（第2期実施計画取組名）に集約</b></li> </ul>	
<b>3.1.5 海域の浄化対策等の推進</b>							
法令等に基づく事業場等の排水の監視・指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場・事業場の排水の監視・指導 市内延べ35箇所の工場・事業場に対し、立入検査を実施し、水質検査結果が規制基準値を超過した延べ3事業場に対して指導を行いました。 事業場排水対策を推進するため、工場・事業場の排水の監視・指導を行う必要があります。</li> </ul>	66	83%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、工場・事業場の排水の監視・指導を行います。</li> </ul>	環境指導課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
豊かな「里海」を実現するための取組の推進	・瀬戸内海環境保全知事・市長会議 瀬戸内海環境保全知事・市長会議に参加し、各種施策に協力しました。	57	71%	B	B	・瀬戸内海環境保全知事・市長会議の会員として、引き続き、各種施策に協力します。	環境指導課
	・海浜清掃事業 毎年1回、市内の海浜及び漁港を漁業者による清掃を実施し、漁港機能の確保や海浜の美観維持に努めました。 事業実施の効果により、漁場環境保全の面で役立っています。 しかし、漁業者の高齢化、後継者不足から清掃事業への参加者が減少傾向であり、今後、効率的な回収方法を検討していく必要があります。 参加者 732人 回収ゴミ 66 t	67	84%	B	B	・豊かな「里海」を実現するため、漁業者による海浜清掃事業を継続し、漁港施設の確保や海浜の美観維持に努めます。	農林水産課
<b>3.2.1潤いのある緑地と水辺空間の創造</b>							
親水空間に配慮した緑のまちづくりの推進	・都市公園等の整備 高松海岸線街路植栽工事L=90m 木太鬼無線街路植栽工事 14本 多肥南公園芝生整備工事A=500㎡ あじ竜王山公園整備工事 みたに三郎池公園整備工事 勅使町御殿ふれあい公園整備工事 1人当たり都市公園等面積 8.15	67	84%	B	B	親水公園の適切な管理・保全（第2期実施計画取組名） 高松海岸線街路植栽工事L=100m 多肥北公園芝生整備工事A=500㎡ あじ竜王山公園整備工事 太田南皿井公園（仮称）整備工事 木太えびす公園（仮称）整備工事	公園緑地課
	・みどり豊かな教育環境を整備するため、校庭を芝生化するなど、学校施設の緑化を進め、子どもたちの緑化意識を育み、環境教育の場となる環境に配慮した学校施設を目指すとともに、次代を担う児童・生徒の運動・体力不足を解消し、たくましく心豊かな子供たちの育成を図ります。 （芝生化の実施）木太北部小1,725㎡ 植田小3,184㎡ グランド2,768㎡	61	76%	B	A	（水環境基本計画上の位置づけを行わない）	教育局総務課
<b>3.2.2生態系に配慮した水空間づくり</b>							
多自然川づくり実現に向けた取組の推進	・生体系保全や河川景観に配慮した生態系保全工法の採用実績はなかったが、今後も引き続き、地域住民や地元水利関係者の理解や協力を得ながら、自然環境や生態系に配慮した河川整備に努めます。	41	51%	D	D	・多自然川づくりについては、引き続き、河川改修工事の新規事業採択に合わせて、周辺環境や管理面に考慮の上、地域住民や地元水利関係者の理解や協力を得ながら、可能な限り生態系保全工法を採用した川づくりに努めます。	河港課
生態系保全水路工法の導入促進	・頭に出水がある用水路の改修に際しては、小型淡水魚等の生息場所となる空間を確保した生態系保全水路工法の採用を推進したが、27年度における実施はありませんでした。今後も、引き続き協力を得られるよう、周知啓発に努めます。 採用水路数 0か所	35	44%	D	D	・頭に出水がある用水路の改修に際しては、小型淡水魚等の生息場所となる空間を確保した生態系保全水路工法の採用を推進します。	土地改良課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>3.2.3住民の憩いの場としてのため池整備</b>							
ため池整備事業にあわせた水辺空間の環境整備	・ため池景観整備維持管理事業により、周辺環境施設の適正な維持管理を推進しました。 ため池景観整備維持管理事業実施か所数 18か所	58	73%	B	B	<u>ため池周辺の環境整備（第2期実施計画取組名）</u> ・ため池の整備に併せ、水辺空間を活用した周辺環境の整備及び維持管理体制づくりを支援します。	土地改良課
「ため池守り隊」市民活動支援事業の実施	・ため池を農家と地域住民による活動団体が管理する取組に対して支援する「ため池守り隊」市民活動支援事業を推進しました。 「ため池守り隊」市民活動支援事業取組か所数 16か所	58	73%	B	B	・ため池を農家と地域住民による活動団体が管理する取組に対して支援する「ため池守り隊」市民活動支援事業を推進します。	土地改良課
<b>3.2.4湧水（出水）、干潟の保全</b>							
湧水（出水）・干潟の保全・活用の検討	・香川中央地域地下水利用対策協議会に負担金を拠出し、地下水水位と水質を調査しました。	36	45%	D	D	・貴重な地域資源である地下水の涵養など、湧水の保全と適正な利用について検討します。	水環境対策室

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>基本方針4 安全で安心なまちづくりの推進</b>							
<b>4.1.1適切な渇水対応の実施</b>							
適切な渇水対応の実施	・香川用水の取水制限はありませんでした。	-	-	-	A	・香川用水の取水制限が実施されれば、渇水の影響を最小限に止めるため、取水制限の段階に応じて、適時適切な渇水対応を行い、断水の回避に努めます。	企業総務課
<b>4.1.2円滑な水融通</b>							
緊急時の円滑な水融通	・市内水利関係者と連携を図り、緊急時に円滑な水融通ができるよう準備しました。	73	91%	A	B	・引き続き関係者との連携を図り、緊急時の円滑な水融通に努めます。	浄水課
<b>4.2.1施設の耐震化</b>							
上下水道施設の耐震整備	・浄水場施設の更新においては、全て耐震構造の施設を築造しています。 ・川添浄水場管理棟の耐震補強工事は、川添浄水場の耐震化計画等について再度検討し、浄水池、ポンプ井の耐震化工事に合せて施工することになりました。	67	84%	B	C	・川添浄水場管理棟の耐震補強工事については、耐震化計画等について再度検討し、浄水池、ポンプ井の耐震化工事に合せて施工することになりました。平成28年度に浄水池、ポンプ井の耐震補強設計委託を行い、平成29年度に耐震化工事を施工する予定です。浅野浄水場については、緩速ろ過池、RC配水池耐震化工事をH27年度から2年間で実施します。また、浄水場の施設更新は全て耐震構造で実施し	浄水課
	・事業の推進で耐震化率は前年度より向上し目標を上回ったが、継続して事業を行う必要があります。 口径50mm～400mm・延長1,365mの配水管布設 口径50mm～900mm・延長8,472mの配水管布設替 合計9,837m	71	89%	A	A	・口径50mm～800mm、延長3,270mの配水管布設を行います。 ・口径50mm～900mm、延長13,570mの配水管布設替を行います。 合計16,840m	水道整備課
	・下水道管きよの新設時に、耐震対策を行った管渠をL=8,350m整備しました。 下水道管きよ耐震化率：35.4%	80	100%	S	S	・引き続き、管渠の新設時及び更新時に、必要な耐震化を行います。	下水道整備課
	・牟礼浄化苑の管理棟及び減菌棟の耐震補強工事の発注を行い、現場着手しています。	54	68%	C	C	・引き続き、牟礼浄化苑の耐震補強工事を実施します。	下水道施設課
<b>4.2.2緊急時の復旧体制の整備</b>							
上下水道の応急復旧体制の整備	・平成28年1月に実施した「上下水道局内地震・津波対策本部設営・運営訓練」において、本部設営方法の習得及び各応急対策班、各担当の役割を認識する運営訓練を行いました。 ・平成28年2月に大規模地震の発生を想定した「高松市上下水道局第1回震災対策総合訓練」において、上下水道局と災害時支援協定を締結している高松市上下水道工事業協同組合等関係機関の協力を得て、配水管の応急復旧訓練を行いました。	67	84%	B	B	・「高松市上下水道局地震・津波対策マニュアル」を状況に応じて改正します。	企業総務課 水道整備課 下水道整備課 下水道施設課

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
応急給水体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性貯水槽の整備 高松市内2箇所（郷東町、塩江町）に、60m<sup>3</sup>の耐震性貯水槽2基を整備しました。</li> </ul>	80	100%	S	A	<u>耐震性貯水槽の維持管理（第2期実施計画取組名）</u>	消防局総務課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際に、応急給水活動を迅速に行うことができるように、各コミュニティ協議会などが主催する震災訓練に参加し、地域の住民とともに応急給水訓練を実施しました。 実施回数：7回</li> </ul>	59	74%	B	B	<u>耐震性貯水槽の維持管理（第2期実施計画取組名）</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際に、応急給水活動を迅速に行うことができるように、引き続き各コミュニティ協議会などが主催する震災訓練に参加し、地域の住民とともに応急給水訓練を実施します。</li> <li>「高松市上下水道局地震・津波対策マニュアル」に基づく対応が速やかに行えるよう、職員向けの応急給水訓練や動員訓練などを定期的実施します。</li> </ul>	企業総務課
<b>4.2.3地域住民との連携の強化</b>							
自主防災組織結成の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自治会加入促進月間」の設定（11月）と併せて、「自主防災組織加入促進月間」を設定しました。</li> <li>小学校など教育機関と連携し、児童・生徒を対象に意識啓発を図りました。</li> <li>平成23年度より配置している協働推進員を活用し、自主防災組織の加入・結成を呼びかけました。</li> <li>市政出前ふれあいトークにおいて、自治会の重要性を説明するとともに、自主防災組織の必要性を説明したことで、意識啓発に一定の効果がありました。 今後も、自治会をベースとした自主防災組織結成の重要性について、説明をしていく必要があると思われます。</li> <li>また、地域コミュニティ協議会において、地域を包括する自主防災組織を結成がされたことから、更なる活動の充実を呼びかけました。</li> </ul>	46	58%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会加入促進月間と併せて、自治会単位での自主防災組織の結成促進を図ります。</li> <li>市政出前ふれあいトークなどで、更なる自治会と自主防災組織の必要性を広めます。</li> <li>自治会と自主防災組織の、更なる連携強化を図ります。</li> </ul>	コミュニティ推進課
自主防災組織結成の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に、自力で避難することが困難な高齢者や障がい者などを登録する災害時要援護者台帳を作成することで、地域の防災力向上を図るとともに、「たかまつ安心キット」の配布を行い、地域の見守り体制の構築を推進しました。 申請書送付件数 3,932件 新規登録者数 640件 新規登録率 16.3%</li> </ul>	45	56%	C	C	(水環境基本計画上の位置づけを行わない)	健康福祉総務課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての地区で包括的自主防災組織が結成され、平成26年度に活動カバー率100%を達成したことから、訓練支援を中心とした自主防災組織の育成を推進しました。 単一の自治会などを単位とした自主防災組織の結成を推進しました。</li> </ul>	73	91%	A	A	自主防災組織の育成（第2期実施計画取組名） <ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携して避難所運営訓練などの実効性のある訓練の実施を促進し、自主防災組織の更なる育成強化を図ります。</li> </ul>	消防局予防課

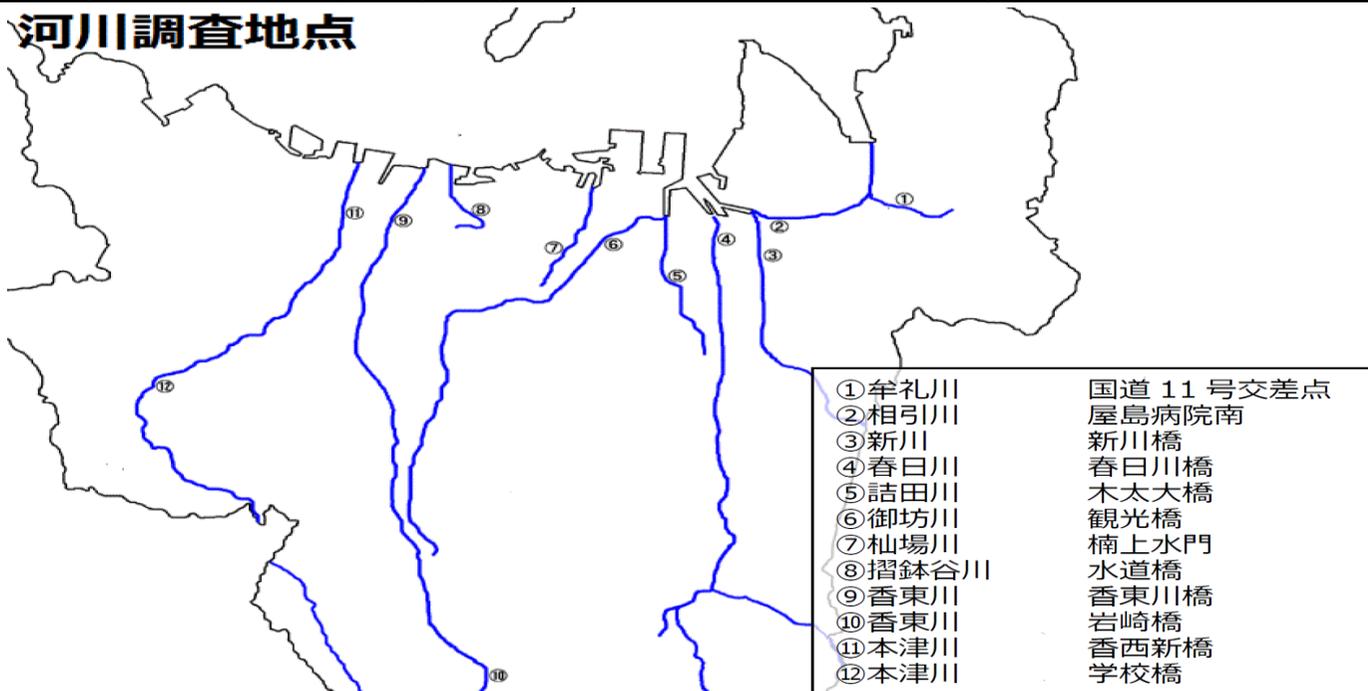
具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
地域と連携した防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災リーダー育成セミナー 防災に関する基本知識・技能を有する人材の育成をするため、意欲のある市民を対象に各専門分野の講師による防災セミナー（2日間）を行い、地域防災リーダーの育成に努めました。 参加者数： 40人</li> </ul>	75	94%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各専門分野の講師による防災セミナー（2日間）を実施し、地域防災リーダーの育成を促しながら、防災士の育成にも努めていきます。</li> </ul>	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災士育成事業 地域防災の担い手の育成を促進し、もって地域防災力の向上に寄与することを目的に、防災士の資格を取得し、地域で防災士として活動した者に対し、防災士機構の認証登録に係る経費の一部を補助金として交付しました。 補助金交付申請者： 19人</li> </ul>	67	84%	B	B		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>36の地域コミュニティ協議会を単位とした防災訓練で使用する非常食品を助成するなどの支援をしました。（訓練実施率82%）</li> <li>防災訓練などの協力要請に対して全て支援しました。</li> </ul>	64	80%	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松市自主防災訓練支援のための非常食品の助成を利用して、各地域コミュニティ協議会に防災訓練の実施を促します。</li> </ul>	消防局予防課
<b>4.3.1雨水対策の推進</b>							
雨水幹線及び雨水ポンプ場の整備と適切な運転・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水幹線整備として、香西第1雨水幹線のほか、仏生山第5雨水幹線などの整備を行いました。また、雨水ポンプ場整備として、福岡ポンプ場、香西ポンプ場の増設及び屋島西ポンプ場の整備を行いました。</li> </ul>	58	73%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水幹線整備として、引き続き、香西第1雨水幹線の整備を行うほか、新たに、西部バイパス幹線の整備に着手します。</li> <li>雨水ポンプ場の整備として、引き続き、福岡ポンプ場及び香西ポンプ場の整備等を行います。</li> </ul>	下水道整備課 下水道施設課
<b>4.3.2高潮等対策の推進</b>							
高潮等関連整備事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>防潮堤等整備工事 高松漁港L=174.6m 庵治漁港L=103.1m 鎌野漁港L=70.4m 女木港L=38.7m 整備延長合計L=386.8m 防潮堤整備による浸水棟の解消率 66.1%</li> </ul>	64	80%	B	B	<b>津波高潮対策事業の推進（第2期実施計画取組名）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>限られた予算の中で、引続き浸水被害の解消を図るため、県と連携を図りながら防潮堤等の早期整備に努めます。</li> <li>H28については、累積標値を85.5%とするため単年度目標値10.4%を見込みます。</li> </ul>	河港課
<b>4.3.3ため池・水田等の保全・活用</b>							
耕作放棄地の再生利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・県の補助を活用して、17aの耕作放棄地を再生利用しました。</li> <li>耕作放棄地の再生利用を図るとともに、農地の貸借により、耕作の継続（耕作放棄地発生の未然防止）を促し、実質的には、数字以上の放棄地増加の抑制と農地の保全を図りました。 耕作放棄地再生利用面積（21年度を基準とした延べ数）13.3ha</li> </ul>	54	68%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度と同様に国・県の補助事業を活用して、耕作放棄地の再生利用に努めます。</li> </ul>	農林水産課
中山間地域等直接支払制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域等直接支払制度の活用 27年度が第4期対策の初年度で対象農地の見直しを行ったことから、面積は前年より下回ったものの、参加農地については農地が持つ水源の涵養や洪水防止などの多面的機能が確保できました。 中山間地域等直接支払制度活用農地面積 279ha（26年度 378ha）</li> </ul>	63	79%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度と同様、耕作放棄の未然防止と農地の水源涵養や洪水防止などの多面的機能の確保を行います。</li> </ul>	農林水産課
ため池の適切な保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽ため池の整備を推進しました。 整備か所数 県営 2か所</li> </ul>	46	58%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>香川県ため池の保全に関する条例などに基づき、引き続き、適切なため池の保全に努めます。また、受益地がなく、利用されていないため池の有効活用策について検討を進めます。</li> </ul>	土地改良課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ため池の統廃合を含めた再編整備を推進しました。 再編整備地区数 0地区</li> </ul>	40	50%	D	C		

具体的取組	H27年度取組実績	H27			H26	今後の取組内容	担当課
		点数	達成率	評価	評価		
<b>基本方針5 持続可能な水の利用および管理のあり方の検討</b>							
<b>5.1.1水に関する関係者の連携・協力・交流の推進</b>							
高松市水環境協議会での意見交換等の実施	・水環境協議会の開催（6月1日、8月30日、2月10日） 「高松市水環境基本計画 第2期実施計画」の策定におきまして、意見を伺いました。また、「高松市水環境基本計画 第1期実施計画26年度取組状況」を報告し、実効性のある進行管理の確立について協議しました。	67	84%	B	B	・水環境協議会において、水を利用する、また、保全・管理するそれぞれの立場から、取組や課題などの意見交換をすることで、総合水循環システムの構築に向けた検討を実施します。	水環境対策室
各施策実施時における多様な主体との連携・協力・交流の推進	・巧水スタイル推進チームへの参加を始め、香川中央地域地下水利用対策協議会（5月26日開催）、節水型街づくり推進協議会（5月29日開催）等に参加し、国・県・関係機関と情報交換することにより、連携・協力・交流を図りました。 ・大学との連携 高知工科大学「気候変動と適応策」について協議	58	73%	B	B	・引き続き、国・県・関係機関等と情報交換することで、連携・協力・交流を行います。 ・大学からの要請があれば、可能な限り協力し、連携を図ります。	水環境対策室
水道事業の統合・広域化の検討	「水道広域事業体設立準備協議会」への参画 ・平成27年4月設立の「香川県水道広域事業体設立準備協議会」へ参画しました。 協議会 3回開催、 幹事会 3回開催、 担当課長会6回開催	57	71%	B	B	<b>香川県広域水道企業団（仮称）の設立準備（第2期実施計画取組名）</b> ・「香川県水道広域事業体設立準備協議会」において、県と市町が協力して、広域水道事業体設立に向けての協議・検討を引き続き進めます。	企業総務課
<b>5.2.1総合水循環システム構築に向けた検討</b>							
持続可能な水環境の形成に向けた総合水循環システムの在り方の検討	下水道の接続率向上、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進することにより、水源水質の向上させることが、良好な水循環の構築に資することを第2期実施計画において図示しました。	49	61%	C	E	・引き続き、水環境協議会において、水を利用する、また、保全・管理するそれぞれの立場から、取組や課題などの意見交換します。	水環境対策室

河川環境基準達成状況及びBOD（汚濁指標）年平均値

※赤字は基準超過

水域名	地点名	地図	類型	BOD基準値	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新川	新川橋	③	B	3mg/L以下	5.9	5.7	5.5	5.4	5.0	4.5
御坊川	観光橋	⑥	E	10mg/L以下	5.2	4.1	3.7	3.3	2.6	2.8
相引川	大橋	②	D	10mg/L以下	5.1	4.8	4.8	4.8	5.1	3.9
春日川	春日川橋	④	B	3mg/L以下	5.1	2.8	3.2	3.4	3.8	3.9
杣場川	楠上水門	⑦	D	8mg/L以下	5.1	3.7	3.9	3.5	3.3	1.6
本津川下流	香西新橋	⑪	B	3mg/L以下	5.0	4.5	5.1	5.1	4.1	3.7
詰田川	木太大橋	⑤	D	8mg/L以下	4.1	2.7	3.3	4.4	3.3	2.4
本津川上流	学校橋	⑫	A	2mg/L以下	3.8	3.3	3.5	2.5	2.7	3.3
香東川下流	香東川橋	⑨	B	3mg/L以下	3.4	1.7	2.3	1.6	1.4	1.6
牟礼川	国道11号線交差点	①	B	3mg/L以下	2.6	2.2	1.8	2.5	2.3	2.8
摺鉢谷川	水道橋	⑧	D	8mg/L以下	2.2	1.8	2.1	1.5	1.3	1.5
香東川上流	岩崎橋	⑩	A	2mg/L以下	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	0.8



河川12地点のBOD推移(近似線)

